

令和7年度

# 工事設計書

工事名 博労座送水管布設替工事  
工事場所 西伯郡大山町 大山



# 現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	<p>① (他工事等との調整) _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</p> <p>② (部分完成、着工保留) _____については、_____まで_____ [すること、しないこと]。</p> <p>③ (施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工(8:00~17:00)を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____とする。</p> <p>④ (余裕期間設定工事) 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領(平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知)の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑥ (週休2日工事) 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領(平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知)の対象工事である。<a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm</a>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。</p>																																
用 地 関 係	<p>① (用地、物件等未処理) 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。</p>																																
支 障 物 件	<p>① (埋設物等の事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____)]について調査済み]である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____)であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>② (支障物件) _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③ (立木の置き場所) 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。</p>																																
公 害 対 策	<p>① (低騒音型・低振動型建設機械) 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示、平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____</p>																																
安 全 対 策	<p>① (交通安全施設等) 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <table border="0"><tr><td>交通誘導員A</td><td>_____人</td><td>交替要員</td><td>_____人</td><td>1日あたり合計</td><td>_____人</td><td>配置日数</td><td>_____日</td></tr><tr><td colspan="2">_____</td><td colspan="2">_____</td><td>工事全体合計</td><td>_____人・日</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>交通誘導員B</td><td>_____人</td><td>交替要員</td><td>_____人</td><td>1日あたり合計</td><td>_____人</td><td>配置日数</td><td>_____日</td></tr><tr><td colspan="2">_____</td><td colspan="2">_____</td><td>工事全体合計</td><td>_____人・日</td><td colspan="2"></td></tr></table> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。</p> <p>また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>	交通誘導員A	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日	_____		_____		工事全体合計	_____人・日			交通誘導員B	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日	_____		_____		工事全体合計	_____人・日		
交通誘導員A	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日																										
_____		_____		工事全体合計	_____人・日																												
交通誘導員B	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日																										
_____		_____		工事全体合計	_____人・日																												

① (濁水処理)

工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。  
 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf>)に基づいて適正に処理すること。

【建設発生土(処理)】

① (他工事等流用)

建設発生土は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_工事現場に運搬(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)するものとする。

② (建設技術センター)

建設発生土は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当り\_\_\_\_\_円をセンターに支払うこと。  
 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、 $\gamma$ -値指数300kN/m<sup>2</sup>以上)

③ (民間残土受入地)

建設発生土は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_に運搬(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)するものとする。  
 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、 $\gamma$ -値指数300kN/m<sup>2</sup>以上)

④ (土質改良プラント)

建設発生土は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_に運搬(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当り\_\_\_\_\_円を\_\_\_\_\_に支払うこと。  
 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、 $\gamma$ -値指数300kN/m<sup>2</sup>以上)

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】

① (分別解体等)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。  
 コンクリート塊 1m<sup>3</sup>当り \_\_\_\_\_円  
 アスファルト塊 1m<sup>3</sup>当り \_\_\_\_\_円  
 建設発生木材 1m<sup>3</sup>当り \_\_\_\_\_円

② (他工事等流用)

{Co雑割材 \_\_\_\_\_} は、\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内\_\_\_\_\_工事で使用するものとする。

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)を想定し、1t当り\_\_\_\_\_円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。  
 なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は\_\_\_\_\_市・町・村\_\_\_\_\_地内の\_\_\_\_\_への搬出(片道運搬距離\_\_\_\_\_km)を想定し\_\_\_\_\_円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

建設副産物の処理

⑤ (再資源化施設へ搬出)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいます。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称) コンクリート塊 市・町・村 地内の  
 受入れ費用) (運搬距離 km)、費用 1t 当り 円  
アスファルト塊 市・町・村 地内の (株) 大協組  
(運搬距離 6.4 km)、費用 1t 当り 円  
建設発生木材 市・町・村 地内の  
(運搬距離 km)、費用 1t 当り 円  
 その他 ( ) 市・町・村 地内の  
(運搬距離 km)、費用 1t 当り 円

(受入れ時間帯) 8時～17時(平日)

(受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 cm 以下、長さ m 以下であること。

エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)

市・町・村 地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離 km)を想定し、その費用として1t 当り 円を見込んでいます。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)

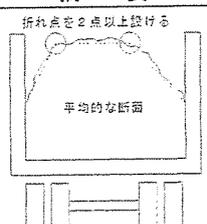
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、円見込んでいます。

⑧ (伐木王の数量)

伐木王は伐木王歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているの、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

王 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量(体積(空m <sup>3</sup> ))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を2点以上設ける  平均的な断面
建設発生木材 搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (マニフェスト)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の処理

建設副産物の使用	<p>① (建設発生土の使用) —                  _____ 工事から [本工事運搬・相手方運搬] の建設発生土を受入れ、使用箇所： _____ に使用する。</p> <p>② (再生資材の使用) —                  ア Co雑割材は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。                  イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所： _____ に使用する。                  ウ 再生クラッシュヤラン [規格：Rc _____] は、使用箇所： _____ に使用する。                  エ 再生コンクリート砂 [規格：RS _____] は、使用箇所： _____ に使用する。                  オ 再生加熱アスファルト混合物 [規格： _____] は、使用箇所： _____ に使用する。                  カ その他再生資材 [資材名： _____] [規格： _____] は、使用箇所： _____ に使用する。                  キ 本工事において、再生クラッシュヤランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。                  ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について) —                  本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。                  【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】                  受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>② (農地の賃貸借) —                  ア _____ の用途に使用するため、 _____ 市・町・村 _____ 番地を賃貸借すること。                  イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。                  ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。                  エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。                  オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</p>
その他	<p>① (自社施工) —                  本工事においては、(※) _____ 工 ( _____ 工を除く) のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。                  ※該当する細別(レベル4)を記載する。</p> <p>② (工事名称)                  工事標示板に記載する名称は、 <u>博労座送水管布設替工事</u> とする。                  なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p>

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔であるではない〕。  
イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔するしない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔アイウエオ〕に該当するため。  
ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事  
イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）  
ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事  
エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）  
オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。  
重点監督の王種は\_\_\_\_\_とし、その他の王種は一般監督とする。  
なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、〔対象工事の区分を記載〕工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象王種が含まれており、該当王種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。  
ア 技能士種別：\_\_\_\_\_技能士、該当王種：\_\_\_\_\_王、特記事項根拠：\_\_\_\_\_頁  
イ 技能士種別：\_\_\_\_\_技能士、該当王種：\_\_\_\_\_王、特記事項根拠：\_\_\_\_\_頁  
ウ 技能士種別：\_\_\_\_\_技能士、該当王種：\_\_\_\_\_王、特記事項根拠：\_\_\_\_\_頁

の  
他

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、仕むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。  
情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。  
電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.html>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。  
オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.html>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。  
ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。  
システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑪ (建設機械の賃料の採用単価)

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。  
 通常単価を採用した建設機械〔無し・有り( )〕  
 イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。  
 本工事の 王で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格 t吊)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、 頁)を採用し、本工事の 王で使用を想定している高所作業車(規格 )の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価 月号、 頁)を採用している。

⑫ (現場環境改善)

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。  
 下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。  
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。  
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。  
 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。  
 また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 王法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・王法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

その他

⑬ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。  
 また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

~~⑭ (現場管理費補正)~~

~~本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮ (日本芝生産地への配慮)~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。~~

~~ア (張芝工・筋芝工) は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ (植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工) に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ (わら芝工・植生シート工・植生マット工) に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m<sup>2</sup>当たり〇〇円を見込んでいる。~~

~~⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。~~

~~⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)~~

~~本工事は、労働安全衛生規則第2編第1-2章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。~~

~~安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。~~

その他

~~⑱ (標示板の設置)~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。~~

~~⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])~~ 【~~災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)~~】

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。~~

~~⑳ (遠隔臨場)~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑ (施工管理システム)~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>~~

※ 明示する項目を\_\_\_\_\_部分に記入または追記し、不要部分は「-」で削除して使用すること。

工 事 仕 様 書

# 第 1 総 括

本工事の仕様指示に当り、その優先順位を次の通りとする。

1. 特記仕様書
2. 水道工事標準仕様書（平成 22 年 日本水道協会発行による。）
3. 共通仕様書（令和 7 年 4 月 1 日 鳥取県土木共通仕様書による。）
4. 工事図面（別添の通り）
5. 工事明細書（別添の通り）
6. その他指示事項

# 第 2 特記仕様書

1. 工 事 名 博労座送水管布設替工事
2. 工事場所 西伯郡 大山町 大山
3. 工 期 令和 年 月 日～令和 年 月 日
4. 工事概要 本工事の概要は、次の通りである。

工 種	構 造	形 状 寸 法	数 量
φ100mm配水管布設	DCIP-K	φ100mm	4.3m
	WEETDAY-11	φ100mm	23.4m
	SUS304 Sch20s	100A	0.2m

## 5. 各種仕様

### (1) 管材の規格

フランジ形ダクタイル鋳鉄異形管	J I S G 5 5 2 7
SUS304 Sch20s 管	J I S G 3 5 4 9
SUSF304 SOP フランジ	J I S B 2 2 2 0
WEETDAY-11	I S O規格

### (2) 骨 材

埋戻用……………真砂土

### (3) 鋼 材

鋼材はSS400、溶融亜鉛めっき（HDZT 77）を施す。

## 6. その他

### (1) 転圧工

埋戻用……………タンバ 20cm×5回転圧

### (2) 成果品

提出すべき成果品は、別添『工事施工管理基準仕様書』によるものとし、提出部数は1部とする。

### (3) 水圧テスト

水圧テストの対象区間はφ50mm以上の管路の本設区間とする。水圧テストは発注者側監督員の立会いのもとで行なう。水圧テストは以下の要領で番号順に行なう。

- ①空気弁を開放し、排気状態を確認しながら徐々に充水する。
- ②充水後も空気弁を開放状態にして空気が完全に抜けるのを待つ。
- ③空気が完全に抜けたことを確認して試験水圧により初期加圧を行なう。
- ④加圧後24時間放置する。
- ⑤24時間後、試験水圧まで再加圧し、その後さらに24時間放置する。
- ⑥24時間後、圧力値を計測する。

水圧テストの試験水圧及び合否基準は以下のとおりとする。

試験水圧 (kg・f/cm<sup>2</sup>) ……水圧テスト対象区間の最大静水圧 + 5.5kg・f/cm<sup>2</sup> (L管、R100管は2.5kg・f/cm<sup>2</sup>)  
合否基準。

$P_h \geq 0.7P$  ……合格

P : 試験水圧

P<sub>h</sub> : 上記⑥による実測圧力値

水圧テストの結果が不合格の場合は、原因究明のうえ適正な処置を行ない再試験する。それでも不合格の場合は発注者と協議し、発注者の指示により必要な処理を行なう。

(5) コンクリートは、原則として生コンを使用する。

セメントは、高炉セメントB種を使用するものとし、混和剤及びA E剤については、監督員が必要に応じてその種類、量及び空気量について指示する。設計基準強度、その他については下表による。

呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	粗骨材最大寸法 (mm)	使用箇所
18	8	40	床均しコンクリート
18	8	40	無筋構造物・小構造物
21	8	20～25	鉄筋構造物
24	8	20	鉄筋構造物

生コン使用に当たっては、次の各表を提出するものとする。

(ただし、JIS A5308によるものは、下記(ロ)、(ハ)、(ニ)を除く。)

- (イ) レディミクストコンクリート使用承認願
- (ロ) レディミクストコンクリート配合報告書
- (ハ) 骨材試験成績表
- (ニ) セメント試験成績表

(6) 用地及び付帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地、及びこれに伴う費用、付帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

(7) 工事中機械

- ① 施工中の重機械の搬出は、監督員と協議のうえ行うこと。
- ② 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した重機械は、直ちに搬入しなければならない。

(8) 工事施工

- ① 施工管理

別添『工事施工管理基準仕様書』による。

(9) 道 路

資材機械等の運搬に際し既存道路、及び構造物等を破損した場合は、請負者の負担において速やかに補修し、通行に支障がないようにしなければならない。

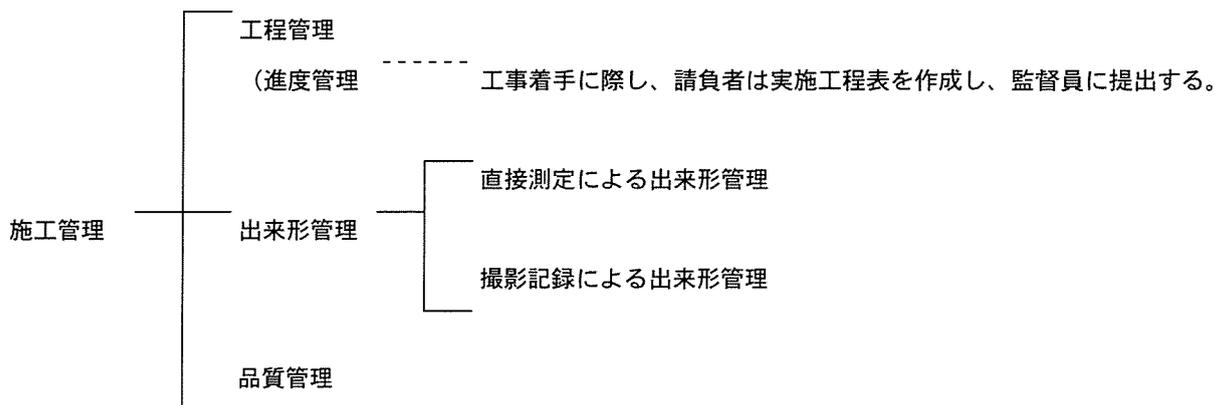
なお、交通制限等の必要のある場合は、あらかじめ監督員の承認を受け、且つ所要の手続きは、監督員を経由して関係機関に行うものとする。

(10) その他補償工事等

- ①地区内にあるNTT柱、中電柱等及び諸施設の移転について工事の工程で本工事に不都合を生ずる場合は事前に監督員に連絡し、みだりに関係諸機関の了解を受けずに移動若しくは取り除いてはならない。
- ②工事中諸施設を破損した場合は、完成者及び関係各機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し、監督員に速やかに報告すること。
- ③工事施工に伴い、地区内の農業用小施設及び物件（ハデ木小屋・サイロ・立木等）の取り払い移動については監督員の指示により施工しなければならない。
- ④工事中に重機械等の移動等により工事完成部を破損した場合等は、速やかに監督員に届け、直ちに修復しなければならない。この場合、監督員の確認が必要である。
- ⑤工事施工について、その期間中所定の様式に従い、日報を提出しなければならない。
- ⑥工事打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。  
打合せ簿に記載されない事項については変更の対象としない。

## 工事施工管理基準仕様書

1. この施工管理基準は、土木工事の施工の近代化に即応して工事の出来形及び品質の向上を図るため、請負者が実施する施工管理の基準を示すものである。
2. 施工管理の基本構成は、次のとおりである。



- (1) 工程管理とは、指定期日、手持資材を考慮し、工事施工達成に必要な作業の手順及び日程を定め、工程計画表を作成し、工事実施途中で計画と実績を比較検討し、必要な処理を取ることをいう。
  - (2) 直接測定による出来形管理とは、工事の出来形を把握するため工作物の寸法、凸凹、勾配基準高等を施工の順序に従って直接測定し、逐次その結果一覧表に記録し、常により的確な管理を行うことをいう。
  - (3) 撮影記録による出来形管理とは、出来形測定、品質管理を実施した場合、又は施工段階及び施工の進行過程を確認するため必要に応じ撮影記録を行うことをいう。
  - (4) 品質管理とは、資材等の品質を把握するため物理的、化学的試験を実施し、その都度その結果を管理図表、又は結果一覧表に記録し、常により的確な管理を行うことをいう。
3. 施工管理の実施に当たって、請負者は、当該工事に施工管理責任者を定め、監督者に通知するものとする。施工管理を掌握し、この基準に従い善良な管理を実施しなければならない。
- (1) 出来形管理、品質の実施は、次項4によるものとする。なお、本仕様書に明示されていない事項については、監督者の指示によるものとする。
  - (2) 施工管理は工事の進行に伴い、速やかに実施し、その結果を監督員に報告し、確認を受けるものとする。監督員は請負者の管理記録を重視（書類チェック）し、必要に応じランダムに現場で検討を行うものとする。
  - (3) 出来形測定及び試験等の測定値がはなはだしく偏向する場合、ばらつきが大きい場合は、その原因を是正し常に所要の品質規格が得られるよう努めなくてはならない。
  - (4) 竣工検査、記載部分検査に際しては、管理図表、又は結果一覧表等を整備し、提出するものとする。

#### 4. 施工管理基準及び管理方式

##### (1) 直接測定による出来形管理

イ) 不可視部分の測定に当たっては、測定時期を逸しないよう特に注意しなければならない。

ロ) 出来形測定に当たっては、測定誤差等を極力少なくするように努め、測定機器を常に点検整備しておかなければならない。

ハ) 出来形測定管理は、出来形管理基準により行うものとする。

##### (2) 撮影記録による出来形管理

イ) 工事写真は、工事そのものが設計図書どおり施工されたかどうかの点を確認、又は判定するための重要な証拠資料となるものであるから、誰が見ても形状寸法等が明確に把握でき、場所、時期等の確認判定ができるよう撮影しなければならない。

ロ) 写真撮影は、撮影管理基準によるものとする。

##### (3) 品質管理

###### イ) コンクリート関係

- ① 品質管理の結果は、その都度施工管理記録に整理し、監督員に提出しその承認を受けるものとする。
- ② 品質管理の結果は、直ちに施工管理に反映させて常に所要の品質規格が得られるように努めなければならない。
- ③ 品質管理を必要とする項目及び(測定)基準は、品質基準により行うものとする。

###### ロ) 二次製品関係

- ① J I S規格製品は、コンクリートの配合表筋等の規格証明書製品の強度試験実施時の写真を添付した報告書を管理基準の内容のものと照合、確認するものとする。
- ② 形状、外観は現場搬入時において確認しなければならない。
- ③ J I S規格同等品、及びJ I S規格外製品についてもJ I S規格製品に準じ試験を行い、試験結果を提出し、品質の確認を受けなければならない。
- ④ 製品には、原則として製造工場、又はその略写呼名及び製造年月日を明示したものとする。

工種別工費計算書

# 工 事 費 明 細 書

博劣座送水管布設替工事

区分	種目別	施設別	工 種 別	単位					備 考	
					数 量	金 額	数 量	金 額		
工事費	本工事費		φ100mm配水管布設	m	54.6				第1号明細書	
	諸経費		小 計							
			共通仮設費	式	1.0				第3号明細書	
			現場管理費	式	1.0				第3号明細書	
			一般管理費	式	1.0				第3号明細書	
				小 計						
				工事価格						
				消費税等相当額	式	1.0			10%	
			工事費計							

第 1 号明細書

φ100mm 配水管布設 設計書

1、設計図面との対象番号

(1)一般平面図-

(2)工種別構造図-

2、工事計画概要

本工事は、配水管としてアラミド外装ポリエチレン管WEETDAY-11 φ100mm L=54.6mを布設するものである。

第 1 号明細書

工種	名称	形状寸法	単位							備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
材料費	アラミド外装ポリエチレン管	WEETDAY-11 φ100×6000	本	8						
	アラミド外装ポリエチレン管 端末継手	GF φ100×20K	組	4						
	アラミド外装ポリエチレン管 ソケット	EF φ100	組	2						
	アラミド外装ポリエチレン管 90° 曲管継手	EF φ100	組	8						
	アラミド外装ポリエチレン管 45° 曲管継手	EF φ100	組	6						
	SUS製 フランジアダプター	φ100×10K×20K	個	4						
	フランジ形状クワイル鑄鉄異形管 フランジ曲管90° (Ⅱ)	10K使用 φ100	個	5						
	フランジ形状クワイル鑄鉄異形管 フランジ曲管45° (Ⅰ)	10K使用 φ100	個	3						
	フランジ形状クワイル鑄鉄異形管 フランジ短管(Ⅱ)	10K使用 φ100×300	個	1						
	フランジ形状クワイル鑄鉄異形管 フランジ短管(Ⅱ)	10K使用 φ100×400	個	1						
	両フランジ ソフトシール仕切弁	φ100×10K	個	4						
	VP用 不断水割T字管	φ100×φ100	個	4						
	VP用 不断水簡易仕切弁	φ100	個	4						
	VP用 管帽	φ100	個	4						
	円形1号 仕切弁鉄蓋	ミニネジ式、除雪型 鉄蓋 150H	個	4						
	円形1号 仕切弁ボックス	上部壁 150H	個	4						
	円形1号 仕切弁ボックス	中部壁 100H	個	4						
	円形1号 仕切弁ボックス	底版 60SS	個	4						
	フランジ接合材	GF、SUSホルト・ナット φ100×10K	組	13						
	管明示テープ	巾50mm	m	11.3						
	埋設標識シート	ダブル 巾150mm	m	140.3						
	ロケーティングワイヤー	φ3.4mm	m	23.5	-					材工共
	ポリエチレンスリーブ	φ100	m	4.9	-					材工共
	鋼材1 H形鋼(有用亜鉛めっき)	H-250×250×9×14 L=5700	本	2						
	鋼材2 H形鋼(有用亜鉛めっき)	H-250×250×9×14 L=5500	本	2						
	鋼材3 平鋼(熔融亜鉛めっき)	250×440×12t	枚	4						
	鋼材4 平鋼(熔融亜鉛めっき)	100×440×12t	枚	8						
	鋼材5 平鋼(熔融亜鉛めっき)	180×310×6t	枚	4						
	鋼材6 溝形鋼(熔融亜鉛めっき)	C-100×50×5×7.5 L=670	個	6						
	F8T高力ボルト(熔融亜鉛めっき) ボルト・ナット・座金(2)	M22 L=80	本	48						
	F8T高力ボルト(熔融亜鉛めっき) ボルト・ナット・座金(2)	M22 L=65	本	16						
	F8T高力ボルト(熔融亜鉛めっき) ボルト・ナット・座金(2)	M16 L=60	本	24						
	Uボルト(熔融亜鉛めっき) Uボルト・ナット・座金	W1/2、125A用	本	12						



工種	名称	形状寸法	単位							備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
労務費	WEETDAY-11 パイプ延管工	φ100	m	47.7						
	ポリエチレン管切断工	φ100	口	16						代価表第K-1号
	WEETDAY-11 端末継手工	φ100	箇所	4						
	WEETDAY-11 EF中間継手工	φ100	箇所	2						
	WEETDAY-11 EFエルボ継手工	φ100	箇所	14						
	鑄鉄管布設工	人力 φ100	m	4.9						代価表第K-2号
	小口径鋼管据付工	人力 φ100	m	0.4						代価表第K-3号
	仕切弁設置工	人力 φ100	基	4						代価表第K-4号
	フランジ継手工	10K φ100	口	13						代価表第K-5号
	仕切弁ボックス設置工 鉄蓋	円形1号	個	4						代価表第K-6号
	仕切弁ボックス 設置工	円形1号 φ100 H=0.6m用	個	4						代価表第K-7号
	不断水分岐工	φ100×φ100	箇所	4						
	不断水仕切弁 設置工	φ100	箇所	4						
	鑄鉄管 管明示テープ工	巾50mm	m	4.9						代価表第K-8号
	ポリエチレン管 管明示テープ工	巾50mm	m	23.5						代価表第K-9号
	埋設標識シート工	巾150mm	m	25.6						代価表第K-10号
	HPPE管 ローディングワイヤー工	φ3.4mm	m	23.5						代価表第K-11号
	ポリスリーブ被覆工	φ100	m	4.9						代価表第K-12号
	WEET管 資材輸送費	4t車輸送	台	1						見積書
	鋼材積込工	φ100	t	1.7						代価表第D-1号
	高力ボルト締付工		本	88						代価表第D-2号
	Uボルト取付工	第7類 0.01t/本	組	12						代価表第D-3号
	コンクリート打設工	人力打設 18-8-40(普通)	m3	1.3						代価表第D-4号
	同一一般型枠工	人力打設	m2	8						代価表第D-6号
	基礎砕石工	RC-40 t=15cm	m2	1.3						代価表第D-7号
	70tラフテレンクレーン		台/日	25						
	単管足場	3ヶ月	掛m2	17						
	機械掘削工 BH 0.08m3	礫質土	m3	25						代価表第D-8号
	機械掘削工 BH 0.08m3	クハ締固 真砂土	m3	8						代価表第D-9号
	機械掘削工 BH 0.08m3	クハ締固 発生土	m3	16						代価表第D-10号
	現地処理土砂工 人力	クハ締固 発生土	日	1						代価表第D-11号
	小計									
	計									

一位代価総括表



一 位 代 価 表

名称	単位	単価	13mm		20mm		25mm		30mm		40mm		摘要
			数量	金額									
配管工	人		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
普通作業員	〃		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の%
計													

名称	単位	単価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.01		0.01		0.02		0.02		0.02		
普通作業員	〃		0.01		0.01		0.02		0.02		0.02		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の% φ75以上は%
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.97

名称	単位	単価	75mm以下		100mm		150mm		200mm		250mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.17		0.19		0.25		0.37		0.50		
普通作業員	〃		0.52		0.65		0.91		1.13		1.38		
計													
1m当り													

名称	単位	単価	300mm		350mm		400mm		450mm		500mm		摘要
			数量	金額									
配管工	人		0.65		0.90		1.14		1.40		1.65		
普通作業員	〃		1.66		1.98		2.37		2.76		3.17		
計													
1m当り													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.54

名称	単位	単価	13mm		20mm		25mm		32mm		40mm		摘要
			数量	金額									
配管工	人		0.10		0.11		0.13		0.14		0.15		
普通作業員	"		0.10		0.12		0.13		0.14		0.16		
計													
1m当り													

名称	単位	単価	50mm		65mm		80mm		100mm		150mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.18		0.19		0.20		0.23		0.30		
普通作業員	"		0.18		0.20		0.23		0.25		0.35		
計													
1m当り													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.67

名称	単位	単価	50mm		75mm		100mm		125mm		150mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.03		0.05		0.07		0.09		0.10		
普通作業員	"		0.15		0.19		0.23		0.30		0.37		
計													

名称	単位	単価	200mm		250mm		300mm		350mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.17		0.24		0.37		0.53		
普通作業員	"		0.45		0.61		0.90		1.27		
計											

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.99

名 称	単 位	単 価	65mm以下		80・75mm		100mm		125mm		150mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.05		0.11		0.11		0.12		0.12		
普通作業員	"		0.05		0.11		0.11		0.12		0.12		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		人件費の%
計													

名 称	単 位	単 価	200mm		250mm		300mm		350mm		400mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.13		0.15		0.17		0.17		0.18		
普通作業員	"		0.13		0.15		0.17		0.17		0.18		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		人件費の%
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 56

名 称	単 位	単 価	円形 φ250mm		円形 φ350mm		円形 φ500mm		円形 φ600mm		円形 φ700mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普通作業員	人		0.06		0.08		0.10		0.11		0.13		
モ ル タ ル	m <sup>3</sup>		0.003		0.004		0.007		0.009		0.01		物価資料 3 月号
計													

名 称	単 位	単 価	角形 1号		角形 2号		角形 3号						摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額					
普通作業員	人		0.10		0.14		0.14						
モ ル タ ル	m <sup>3</sup>		0.006		0.007		0.008						物価資料 3 月号
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 102

名称	単位	高さ	H=600mm		H=700mm		H=800mm		H=900mm		H=1000mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
調整リング	個	50					1.00						
調整リング	個	100			1.00								
上部壁	個	150							1.00		1.00		
中部壁	個	100									1.00		
下部壁	個	300							1.00		1.00		
上下部壁	個	150	1.00		1.00		1.00						
上下部壁	個	300											
底板	個	60	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		
計													

名称	単位	単価	H=600mm		H=700mm		H=800mm		H=900mm		H=1000mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
普通作業員	人												
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.103

名称	単位	単価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
普通作業員	人		0.09		0.11		0.12		0.11		0.12		
計													
1m当り													

名称	単位	単価	250mm		300mm		350mm		400mm		450mm		摘要
			数量	金額									
普通作業員	人		0.12		0.11		0.12		0.17		0.17		
計													
1m当り													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.65

名 称	単 位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普通作業員	人		0.09		0.10		0.10		0.11		0.12		
計													
1m当り													

名 称	単 位	単 価											摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 87

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		0.40	人			
計						
1m当り						

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 66

第 K-11 号代価表

ロケーティングワイヤー工

100m 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		0.10	人			
ロケーティングワイヤー	φ3.4mm	110.0	m			
計						
1m当り						

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.66

第 K-12 号代価表 <u>φ100mm ポリスリーブ被覆工</u> 100m 当り						
名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配管工		0.30	人			
普通作業員		0.30	人			
ポリスリーブ		150.0	m			R7見積書
粘着テープ	巾19mm	61.2	m			物価資料 3 月号
計						100m当り
1m当り						/100m

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.60

$$\text{ポリスリーブの数量 } A = \frac{L2(1+a)}{L1} \times 100.0m = 150.0m$$

L1 : 直管長 (m/本) = 4.0m

L2 : 管1本当りスリーブ長 (m) = 5.0m

a : ポリスリーブ割増係数 = 0.2

鋼材積込工  
ラフレンクレーンは別途計上

### 代価表

D- 1号代価表

10 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
とび工	人					[R7.3] [R01012 RTPC00004]
溶接工	人					[R7.3] [R01011 RTPC00019]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
諸雑費	%				諸雑費	設置 溶接機、溶接棒、ラフレン等
計						
1 t 当り						
代価表当り数量の選択：10t当り代価表 火打ちブロックの有無：無 (ラフレンクレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり クレーン賃料補正：標準 H形鋼山留材賃料計上区分：施工費のみ						
〈主部材-副部材1t又は10t当り歩掛〉 〈設置〉						

5 頁

鋼材積込工  
ラフレンクレーンは別途計上

### 代価表

D- 1号代価表

10 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
世話役(人/1t又は10t) : S11 = S11a/10*AT = 1.7000						
とび工(人/1t又は10t) : S12 = S12a/10*AT = 3.2000						
溶接工(人/1t又は10t) : S13 = S13a/10*AT = 1.7000						
普通作業員(人/1t又は10t) : S14 = S14a/10*AT = 1.7000						
ラフレンクレーン(日/1t又は10t) : S15 = S15a/10*AT = 1.7000						
諸雑費(%) : S16 = 5.0000						
〈設置-10t当り〉						
世話役(人/10t) : S11a = 1.7000						
とび工(人/10t) : S12a = 3.2000						
溶接工(人/10t) : S13a = 1.7000						
普通作業員(人/10t) : S14a = 1.7000						
ラフレンクレーン(日/10t) : S15a = 1.7000						
〈撤去〉						
世話役(人/1t又は10t) : S21 = S21a/10*AT = 1.0000						
とび工(人/1t又は10t) : S22 = S22a/10*AT = 1.9000						
溶接工(人/1t又は10t) : S23 = S23a/10*AT = 1.0000						
普通作業員(人/1t又は10t) : S24 = S24a/10*AT = 1.0000						
ラフレンクレーン(日/1t又は10t) : S25 = S25a/10*AT = 1.0000						
諸雑費(%) : S26 = 7.0000						
〈撤去-10t当り〉						
世話役(人/10t) : S21a = 1.0000						
とび工(人/10t) : S22a = 1.9000						
溶接工(人/10t) : S23a = 1.0000						
普通作業員(人/10t) : S24a = 1.0000						
ラフレンクレーン(日/10t) : S25a = 1.0000						
〈主部材1t又は10t当り歩掛〉						
世話役(人/1t又は10t) : S31 = (S11a*SE-S21a*TE)*(1-W)/10*AT = 1.7000						
とび工(人/1t又は10t) : S32 = (S12a*SE-S22a*TE)*(1-W)/10*AT = 3.2000						

6 頁



鋼材積込工  
ラフレンクレーンは別途計上

# 代価表

D-1号代価表

10 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
副部材区分：FG2 = HB = 1.0000 〈上位代価から受取る変数〉						
火打ちアロック使用区分：HB'						
H形鋼山留材賃料計上区分：TN						
ラフレンクレーン計上区分：RK' = 1.0000						
賃料補正区分：L`NK = 1.0000						
代価表当り数量区分：MIF_6 〈子代価に送る変数〉						
火打ちアロック区分：HB = 1.0000 〈発注者マシから受け取る変数〉						
積算システム：0`Sys = 3.0000						
積算基準マシ区分：0`Dat						
補正値入力動作区分：T`HNK 〈レベル変数〉						
代価表当り数量区分レベル：LEV_E						
賃料補正区分レベル：発注者マシ：Lv`NK						
賃料補正区分レベル：工種指定：Lv_NK						
H形鋼山留材賃料計上区分レベル：L_tn						

高力ボルト本締工  
総本数=88本

### 代価表

D- 2号代価表

130本当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
橋りょう世話役	人					[R7.3] [R01051 RTPC00021]
橋りょう特殊工	人					[R7.3] [R01052 RTPC00020]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
諸雑費	%				諸雑費	発電機賃料、燃料、油脂、消耗品等
計						
1本当り						
高力ボルト総本数：n=88本						
〈日当り施工量計算〉						
1日当り作業量(本/日)： $Q = \text{MIN}(q1, 455) = 130.0000$						
1日当り作業量(下限値)： $q1 = \text{MAX}(q, 130) = 130.0000$						
1日当り作業量(計算)： $q = 0.04 * n - 117 = 121.0000$						
本締めボルト総本数(本)： $n = 88.0000$						



## 代価表

コンクリート 小型構造物 人力打設 18-8-40(普通)生コンクリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り ( D- 4号代価表 )

1 m3当り

R	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		46.18				
R1	普通作業員	28.56		普通作業員		[R7.3] R6.3
R2	土木一般世話役	8.40		土木一般世話役		[R7.3] R6.3
R3	特殊作業員	7.04		特殊作業員		[R7.3] R6.3
Z		53.82				
Z1	生コンクリート 18-8-40高炉 W/C60%以下 生コンクリート小型車割増無	53.82		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		W/C建設費06.04 東京都17区 (生)
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 構造物種別：小型構造物 打設工法：人力打設 コンクリート規格：18-8-40(普通) 養生工の種類：一般養生 現場内小運搬の有無：有り 生コンクリート：生コンクリート； 18-8-40(普通) 生コンクリート小型車割増無						
<入力条件> 構造物種別：J1 = 2.0000						

13 頁

## 代価表

コンクリート 小型構造物 人力打設 18-8-40(普通)生コンクリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り ( D- 4号代価表 )

1 m3当り

R	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
	打設工法:入力条件: J2a = 4.0000					
	コンクリート規格:入力条件: J3a = 11.0000					
	設計日打設量: J4					
	養生工の種類: J5 = 2.0000					
	圧送管延長距離区分: J6					
	現場内小運搬の有無: J7 = 1.0000					
	打設高さ,水平打設距離: J8					
	<材料単価>					
	コンクリート単価(円/m3): Zt1					
	<被災地における歩掛補正>: ZZZ02					
	日当り作業量補正区分:被災地: J30					
	補正(被災地)地区区分: $Q^{\sim}j31 = 1 = 1.0000$					
	日当り作業量補正:被災地: $Q^{\sim}PDK = \text{if}(J30 == 0, 1, Q^{\sim}pdk) = 1.0000$					
	日当り作業量補正:被災地(代入): $Q^{\sim}pdk = 1.0000$					
	被災地補正使用区分: $Q^{\sim}hk1 = 1 = 1.0000$					
	<クレーン賃料の計算>					
	クレーン賃料(円/日)補正後: $L^{\sim}PNp = L^{\sim}P * \text{if}(1nk == 1, (1 - L^{\sim}N / 100), L^{\sim}\alpha)$					
	クレーン賃料(円/日)標準額: $L^{\sim}P$					
	クレーン賃料補正率(%): $L^{\sim}N$					
	クレーン賃料補正係数: $L^{\sim}\alpha$					
	<クレーン賃料の計算>					
	クレーン賃料(円/日)補正後: $L^{\sim}PN2 = L^{\sim}P2 * \text{if}(1nk2 == 1, (1 - L^{\sim}N2 / 100), L^{\sim}\alpha2)$					
	クレーン賃料(円/日)標準額: $L^{\sim}P2$					
	クレーン賃料補正率(%): $L^{\sim}N2$					
	クレーン賃料補正係数: $L^{\sim}\alpha2$					
	<賃料・損料金額>					
	バックホウ賃料: BHT					
	ショベルカー賃料: JHT					

14 頁

代価表

コンクリート 小型構造物 人力打設 18-8-40(普通)生コンクリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り ( D- 4号代価表 )

1 m3当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格(基準地区単価)	基準地区単価	備考
コンクリートポンプ車損料: CPS = @19 = 52800.0000 <内部変数>					
構造物種別: jlco 構造物種別: jlcoa = if(jlco==0, jl, jlco)					
生コンクリート規格選択区分: j3co = if(RCON == 1, 30, j3) 養生工の種類: j5fg 養生工の種類: j5fga = if(j5fg==0, j5, j5fg)					
日当り施工量(m3/日) 採用値: QPD = qpd * K`BIG * Q`PDK = 5.0000 日当り施工量(m3/日) 条件より: qpd = 5.0000 打設工法:標準単価値: J2 = 3.0000 コンクリート規格:標準単価値: J3 = 31.0000					
構造物種別 - 打設工法: J1J2 = J1*100-J2a = 204.0000 表示切替条件区分: SE`P = 0`Sep 材料単価計上方法: ZKH = if(zkh > 0, zkh, 1) = 1.0000 材料単価計上方法(変数指定用): zkh 鉄道判定: RRs = 2.0000 地区区分: CK ルーン規格区分: L`CK 賃料長期割引区分: L`LK 賃料長期割引区分:判定: L`LKH 賃料補正区分:判定: L`NKd 賃料補正区分: L`NKD					
賃料補正区分レベル:判定: Lv_nk = if(Lv_NK > 0, Lv_NK, if(Lv_NK > 0, Lv`NK, if(0`Sys == 1, 3, 賃料補正値入力区分)))nk > 0, LNK, if(T`LNK > 0, T`LNK, if(0`Sys == 1, 2, if(0`Dat == 1, 2, 1)))) = 1.0000					

15 頁

代価表

コンクリート 小型構造物 人力打設 18-8-40(普通)生コンクリート小型車割増無 一般養生 現場内小運搬有り ( D- 4号代価表 )

1 m3当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格(基準地区単価)	基準地区単価	備考
補正值入力動作区分: hnk = if(HNK > 0, HNK, if(T`HNK > 0, T`HNK, if(0`Sys == 1, 2, 賃料補正値入力区分)))判定: j1j2j3 = if(SE`P == 13, LNK2, 1nk) = 1.0000 賃料補正值入力区分: LNK2					
<日当り作業量補正:道路維持等作業効率低下> 日当り作業量補正:道路維持等作業効率低下: K`BIG = 1.0000 日当り作業量補正区分:道路維持等効率低下: F`BIG = if(MIF_4 == -1, MIF_4, A`BIG) 対象地区区分: A`BIG 道路維持等作業効率低下補正使用:工種指定: MIF_4 日当り作業量補正区分レベル:道路維持等低下: LEV_A = 2.0000					
<コンクリートに送る変数> 生コン選択区分: rcon = if(RCON > 0, RCON, 2) = 2.0000 生コン規格区分: SCON = 6.0000 生コン種類選択区分: ty_co = 1.0000 単価選択区分: tdk = 1.0000 生コンクリート小型車割増額の計上区分: W`kog 生コンクリートの夜間割増の有無区分: K_yak = 1.0000 生コンクリートの夜間割増の有無区分レベル: L`yak = 2.0000 コンクリート遠距離加算単価計上数量: KE 材料単価計上区分: zkh1 材料単価計上方法レベル: LE_zt = 1.0000					
<子へ送る変数> 適用労務切替(山林砂防工): Rs1 = 2.0000 工種区分: fg2 = if(RRs == 1.5, 3, 1) = 1.0000					
<上位代価より受け取る変数> 構造物種別: j1 打設工法: j2 コンクリート規格: j3					

16 頁



代価表

生コンクリート  
18-8-40高炉(W/C60%以下) 生コンクリート小型車割増無

D- 5号代価表

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
生コンクリート 18-8-40 高炉(W/C 60%以下)	m3					[参考:物資R07.10] [J02060 TTPCD0010]
計						
1 m3 当り						
生コンクリートの選択方法: 「単価選択」画面で選択						
生コンクリート規格: 生コンクリート; 18-8-40 高炉(W/C 60%以下)						
生コンクリートの夜間割増の有無: 無						
生コンクリート小型車割増額の計上: 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上: 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし): 計上しない						
<コンクリート数量>						
生コン材料使用量(m3/m3): S1 = 1 = 1.0000						
<材料単価>						
コンクリート単価(円/m3): Zt1 = 24900.0000						
<内部変数>						
生コンクリートの夜間割増の有無: R_yak						
生コンクリートの夜間割増の有無区分: K_yak						
生コンクリートの夜間割増の有無区分レベル: L_yak						
生コンクリート小型車割増額の計上有無: R_kog						
生コンクリート山岳割増額の計上有無: R_san						

代価表

生コンクリート  
18-8-40高炉(W/C60%以下) 生コンクリート小型車割増無

D- 5号代価表

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
生コンクリート冬期加熱費加算額の計上有無: R_tou						
生コンクリート冬期加熱費動作区分: R_Hea = 01						
生コンクリート小型車割増額の計上区分: W_kog						
生コンクリート山岳割増額の計上区分: W_san = 2.0000						
表示切替条件区分: SE`P = 0`Sep						
材料単価計上方法: ZKH = if(zkh1 > 0, zkh1, if(zkh > 0, zkh, if(Z`KH > 0, Z`KH, 1))) = 1.0000						
材料単価計上方法(変数指定用): zkh						
単価選択区分: TKK = if(tdk > 0, tdk, TDK) = 1.0000						
<レベル変数>						
生コンクリート小型車割増額の計上有無レベル: LEV_P						
材料単価計上方法レベル: LE_ZT = if(LE_zt > 0, LE_zt, 1) = 1.0000						
生コンクリート山岳割増額の計上有無レベル: L_ws = 2.0000						
<上位代価より受け取る変数>						
生コン選択区分: RCON						
生コン規格区分: SCON						
生コン種類選択区分: TY_CO = 1.0000						
単価選択区分(受取): TDK = 1.0000						
単価選択区分(工種指定): tdk						
規格計上決定方法区分: KKK						
コンクリート運距離加算単価計上数量: ke						
材料単価計上方法(上位から受取用): zkh1						
材料単価計上方法レベル(上位から受取用): LE_zt						
<発注者マスタから受取変数>						
表示切替区分: 0`Sep						
材料単価計上方法: Z`KH						

型枠  
一般型枠 小型構造物

代価表  
( D-6号代価表 )

1m2当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備考
R	100.00				
R1	型わく工	44.28	型枠工		[R7.3] R6.3
R2	普通作業員	30.82	普通作業員		[R7.3] R6.3
R3	土木一般世話役	11.86	土木一般世話役		[R7.3] R6.3
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無					
型枠の種類 : 一般型枠					
構造物の種類 : 小型構造物					
<入力条件>					
型枠の種類 : J1 = 1.0000					
構造物の種類 : J2 = 2.0000					
<内部変数>					
日当り施工量(m2/日) 採用値 : QPD = if(J2 == 4, if(QTK == 1, qpd, qpd2), qpd) * K`BIG = 15.0000					
日当り施工量(m2/日) 条件より : qpd = 15.0000					
日当り施工量(m2/日) 積算基準より : qpd2 = 38.0000					
構造物表示切替区分 : sep = if(SEp > 0, SEp, SE`P)					
表示切替条件区分 : SE`P = 0`Sep					
鉄道判定 : RRs = 2.0000					

型枠  
一般型枠 小型構造物

代価表  
( D-6号代価表 )

1m2当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備考
型枠種類数 : J1s = 1.0000					
施工量補正区分有無 : tySH					
<日当り作業量補正:道路維持等作業効率低下>					
日当り作業量補正:道路維持等作業効率低下 : K`BIG = 1.0000					
日当り作業量補正区分:道路維持等効率低下 : F`BIG = if(MIF_4 == -1, MIF_4, A`BIG)					
対象地区区分 : A`BIG					
道路維持等作業効率低下補正使用:工種指定 : MIF_4					
日当り作業量補正区分レベル:道路維持等低下 : LEV_A = 2.0000					
<上位代価より受け取る変数>					
型枠の種類 : J1					
構造物の種類 : J2					
適用労務選択方法の切替(山林砂防工) : 0`SAN = 1.0000					
適用労務切替(山林砂防工) : rs1					
注釈区分 : TA`SN = 1.0000					
日当り作業量補正区分 : QSK = 1.0000					
日当り作業量適用区分(トンネル非常駐車・箱技) : QTK = 1.0000					
構造物区分 : Kou					
構造物表示切替区分 : SEp					
<発注者マシから受取変数>					
表示切替区分 : 0`Sep					
<子へ送る変数>					
適用労務切替(山林砂防工) : Rs1 = 2.0000					
工種区分 : fg2 = if(RRs == 1.5, 3, 2) = 2.0000					

基礎砕石  
12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュ40<sup>0</sup>

代価表  
( D- 7号代価表 )

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備考
K		5.04				
K1	<賃>バク砂(クロー型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.01		[賃料]バク砂 クロー型 山積0.8m3(平積0.6m3)		[(参考:物資R07.10)] 建設物価006.04.P801、関東地区、積算
R		74.10				
R1	普通作業員	35.62		普通作業員		[R7.3] R6.3
R2	特殊作業員	15.04		特殊作業員		[R7.3] R6.3
R3	運転手(特殊)	13.95		運転手(特殊)		[R7.3] R6.3
R4	土木一般世話役	8.98		土木一般世話役		[R7.3] R6.3
Z		20.86				
Z1	再生クラッシュ RCC-40 小口	16.17		再生クラッシュ RC-40		[R07.10] 建設物価006.04.P129、東京都17区
Z2	軽油 小型ローリーバトール給油	4.66		軽油 バトール給油		[(参考:物資R08.02)] 建設物価006.04.P788、関東地区、積算
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下): 無 砕石の厚さ: 12.5cmを超え17.5cm以下 砕石の種類: 再生クラッシュ 40 <sup>0</sup> (バク砂山積0.8m3)賃料長期割引の適用: 長期割引あり						

23 頁

基礎砕石  
12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシュ40<sup>0</sup>

代価表  
( D- 7号代価表 )

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備考
	再生クラッシュ 40 <sup>0</sup> : 再生クラッシュ; RCC-40 小口 軽油: 軽油; 小型ローリーバトール給油					
<入力条件>						
砕石の厚さ: J1 = 3.0000						
砕石の種類: 条件値: J2a = 8.0000						
<材料単価>						
砕石材料単価(円/m3): Zt1						
<日当り作業量補正: 道路維持作業効率低下>: ZZZ01						
日当り作業量補正: 道路維持等作業効率低下: K`BIG = 1.0000						
日当り作業量補正区分: 道路維持等効率低下: F`BIG = if(MIF_4 == -1, MIF_4, A`BIG)						
対象地区区分: A`BIG						
道路維持等作業効率低下補正使用: 工種指定: MIF_4						
日当り作業量補正区分: 道路維持等低下: LEV_A = 2.0000						
<内部変数>						
砕石の種類: 標準単価: J2 = 8.0000						
砕石材料費の計上方法: sf_z = if(swk == 0, if(pref == 1, if(O`Org >= 2, 3, 2), if(O`Org == 1, if(pref >= 36, 2), 2)), \$pref2:0000 3, 2),						
都道府県番号区分: pref = @1 = 31.0000						
日当り施工量(m2/日) 採用値: QPD = qpd * KK * K`BIG = 155.0000						
日当り施工量(m2/日) 条件より: qpd = 155.0000						
基礎砕石補正: KK = 1.0000						
表示切替条件区分: SE`P = 0`Sep						
バク砂賃料切替区分: Idk						
<路盤材に送る変数>						
砕石区分: Ro_k = 3.0000						

24 頁

基礎砕石  
12.5cmを超え17.5cm以下 再生ワッサン40`0

代価表

( D-7号代価表 )

1 m2当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格 (基準地区単価)	基準地区単価	備考
土砂等運搬計上区分 : unk = if(0`Org == 1, if(pref >= 36, 材料補正值(%) : if(pref >= 20, 0.000 2, SF_Un), SF_Un), SF_Un)					
<上位代価より受け取る変数>					
砕石の厚さ : j1					
砕石の種類 : j2					
砕石材料費の計上方法 : swk					
土砂等運搬計上区分 : SF_Un					
適用労務切替(山林砂防工) : rs1					
適用労務選択方法の切替(山林砂防工) : 0`SAN = 1.0000					
注釈区分 : TA`SN = 1.0000					
砕石の厚さレベル : 1_S					
<発注者マスタより受け取る変数>					
発注機関のレベル(国、都道府県等) : 0`Org = 2.0000					
表示切替区分 : 0`Sep					
<子へ送る変数>					
適用労務切替(山林砂防工) : Rs1 = 2.0000					

管路掘削小型バックホウ掘削積込  
クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)

代価表

D- 8号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
小型バックホウ(排対1次) クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)	日				1号単価表 43頁	
諸雑費	式				調整金	
計						
1 m3 当り						
バックホウ機種：クロー型山積0.08m3 (小型バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値) 小型バックホウ：小型バックホウ(排対1次)；クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)						
〈歩掛数値の計算〉 世話役(人/100m3)：S1 = 2.8000 普通作業員(人/100m3)：S2 = 7.8000 バックホウ運転(h又は日/100m3)：S3 = if(SFK1=1, S3a, S3b) = 2.6320 バックホウ運転(日/100m3)：S3a = 1*LD = 2.6320 バックホウ運転(h/100m3)：S3b						

26 頁

管路掘削小型バックホウ掘削積込  
クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)

代価表

D- 8号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
100m3当りの作業日数(日)：LD = 100/D = 2.6316 日当り施工量(m3/日)：D = 38.0000						
〈内部変数〉 日当り施工量(m3/日)：QPD = D = 38.0000 省庁区分：SF = 9.0010 機種区分：SFK1 = 1.0000 運転費指定事項の参照資料：SFK2 = 2.0000 運転費区分：SFK10 = 2.0000 燃料の算出方法区分：nss = 1.0000 運転費指定事項の参照資料：sfk22 = if(SFK2=0, if(sfk2=0, 2, sfk2), SFK2) = 2.0000						
〈標準値・指定値〉 〈バックホウ・小型バックホウ(共通)〉 単価表区分：FG = 1.0000 機種区分：FG^24 = 12.0000 機種区分：FG^01 工種・規格区分又は規格区分(平積m3)：K = 99999.0000 岩石作業による運転損料補正：GH = 1.0000 特殊規格の基礎価格補正率有無：cFG = 2.0000 特殊規格の基礎価格加減額有無：dFG = 2.0000 省庁区分(指定)：SFA						
〈標準値〉 〈バックホウ〉 損料・賃料区分：FG2 = 1.0000 規格区分(τ吊)：K2 = if(K >= 0.35, 2.9, 0) = 2.9000 全て標準を適用する場合：DFG1 = 1.0000						
〈バックホウ(指定事項)〉 運転日当り運転時間適用方法：TFG = 1.0000 供用日当り運転時間適用方法：τFG = 1.0000						

27 頁



管路埋戻(機械埋戻・小型バックホ)  
機械投入-締めめ 山積0.08m3 山土

代価表

D- 9号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
山土 CBR≧12	m3					[R07.10] [J03207 TTM0052]
小型バックホ(排対1次) クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)	日				1号単価表 43頁	
クハ及びクワ(賃料) 質量60~80kg	日				2号単価表 48頁	
諸雑費	式				調整金	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上する						
埋戻土の選択：山土； CBR≧12						
埋戻土の単位選択：「m3」単位の材料単価						
土量変化率(岩なし)：砂及び砂質土:砂質土(普通土)； 変化率L, 変化率C						
施工区分：機械投入-締めめ； 世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), クハ運転(日/100m3), クハ日当り施工量(m3/日)						
クハ：クハ及びクワ(賃料)； 質量60~80kg						
小型バックホ規格選択：クロー型山積0.08m3						
(小型バックホ)排対機械の選択：排対対策型(第1次基準値)						

30 頁

管路埋戻(機械埋戻・小型バックホ)  
機械投入-締めめ 山積0.08m3 山土

代価表

D- 9号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
岩石補正：補正なし 小型バックホ：小型バックホ(排対1次)；クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)						
<歩掛数値の計算>						
世話役(人)：S1 = if(SFK3==1, S1a, S1b) = 2.5000						
世話役(人) 下水維持以外：S1a = 2.5000						
世話役(人) 下水維持：S1b = 0						
普通作業員(人)：S2 = if(SFK3==1, S2a, S2b) = 6.8000						
普通作業員(人) 下水維持以外：S2a = 6.8000						
普通作業員(人) 下水維持：S2b = 3.6700						
埋戻土(m3又は各単位)：S3 = if(S3FG==1, if(S4FG==1, S3a, S3b), S3b) = 133.0000						
埋戻土(m3)(計算算出)：S3a = if(FG_UM == 0, if(DK == 1, f, f1) * AT, S3a') = 133.0000						
埋戻土(m3/100m3)：S3a'						
土量変化率(L/C) 再生資材以外：f = L/C = 1.3300						
土量変化率(L/C) 再生資材：f1 = L/C = 1.3300						
変化率L：L = 1.2000						
変化率C：C = 0.9000						
埋戻土(各単位)(直接入力)：S3b = if(FG_UM == 0, if(UMnk == 0, S3b2*AT, S3b3), S3b')						
埋戻土(各単位/100m3)(直接入力)：S3b'						
埋戻土(各単位/m3)：S3b2						
埋戻土(各単位/100m3)：S3b3						
埋戻土単位選択：S3FG = 1.0000						
バックホ運転(日又は時間) 切替：S4 = if(SFK3==1, if(K==0, 0, S4a), S4b) = 1.7540						
バックホ運転(日又は時間) 下水維持以外：S4a = if(SFK1==1, S4a1, S4a2) = 1.7540						
小型バックホ運転(日) 下水維持以外：S4a1 = 1*LD = 1.7540						
バックホ運転(時間) 下水維持以外：S4a2						
バックホ運転(日) 下水維持：S4b = 1*if(A > V, 1, V/A)						

31 頁

代価表

D- 9号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
クバ 運転(日) 切替 : S5 = if(SFK11==2, 0, if(SFK3==1, S5a, S5b)) = 3.0000						
クバ 運転(m3又は日) 下水維持以外 : S5a = 3.0000						
クバ 運転(日) 下水維持 : S5b = 1*if(A > V, 1, V/A)						
クバ 締固め(m3) : S6 = if(SFK11==2, S5a, 0)						
代価表当り数量(m3) : AT = 100.0000						
代価表単位当りの作業日数(日) : LD = AT/Da = 1.7544						
日当り施工量(m3/日) バックホ機械投入 : Da = 57.0000						
日当り施工量(m3/日) クバ 締固め : Db = 36.0000						
<下水維持の作業量計算>						
1日当り標準作業量(m3/日) : V = 17.1000						
1日当り設計(発注)作業量(m3/日) : A						
<積算方式の切替>						
積算方式(切替) : SEPRN = if(FieK == 1, Nest,						
積算方法レベル(切替) : SEPRN1 = if(FieK == 1, Nest1,						
if(0^Org == 1, ESTLA, ESTLB)) = 2.0000						
<内部変数>						
日当り施工量(m3/日) : QPD = if(A==0, (1/(1/Da-1/Db)), A) = 22.0645						
省庁区分 : SF = 9.0000						
バックホ機種区分 : SFK1 = 1.0000						
土質区分 : SFK2 = 1.0000						
歩掛区分 : SFK3 = 1.0000						
運搬費区分 : SFK10						
クバ 動作区分 : SFK11 = 3.0000						
工種区分 : SFK12 = 2.0000						
省庁区分指定(クバ) : SFA						
省庁区分指定(バックホ) : SFAb						
埋戻土量算出方法 : S4FG = 1.0000						
埋戻土量算出方法切替区分 : s4fga = if(s4fg > 0, s4fg, s4fgb)						

代価表

D- 9号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋戻土量算出切替区分 : s4fgb						
燃料の算出方法区分 : nss = 1.0000						
土量変化率切替区分 : DK = 1.0000						
発注分野区分 : FieK = if(0^Fie == 2, 2,						
if(0^Fie == 23, 2, 1)) = 1.0000						
積算方式 : EST1						
埋戻材料区分 : Y_UZ						
土質変化率選択区分 : ty_dk						
土質変化率切替区分 : DHK = 1.0000						
バックホ規格区分 : BK						
<クバ 運転費>						
機種区分 : FGa = 17.0000						
規格区分 : Kal = 387.0000						
<バックホ運転費に送る変数:共通>						
単価表区分 : FG = 1.0000						
機種区分 : FG^24 = 12.0000						
機種区分 : FG^01						
損料・賃料区分 : FG2 = 1.0000						
工種・規格区分又は規格区分(平積m3) : K = 99999.0000						
規格区分(t吊) : K2 = if(K >= 0.35, 2.9, 0) = 2.9000						
岩石作業による運転損料補正 : GH = 1.0000						
特殊規格の基礎価格補正率有無 : cFG = 2.0000						
特殊規格の基礎価格加減額有無 : dFG = 2.0000						
全て標準値を適用する場合 : DFG = if(SFK1==3, 2, 1) = 1.0000						
<バックホ(指定事項)>						
運転日当り運転時間適用方法 : TFG = 1.0000						
供用日当り運転時間適用方法 : tPG = 1.0000						
運転労務数適用方法 : RFG = 2.0000						

代価表

D- 9号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1h当り運転労務(人/h)工種指定 : R2a 燃料又は電力数量適用方法 : NFG = 2.0000						
1h当り燃料又は電力量 工種指定 : N2a 損料数量適用方法 : SFG = 2.0000						
1h当り損料(賃料)数量 工種指定 : Sa2 <小型パッカー (燃料, 供用日数計算算出)>						
工種・規格区分 : K3 = 99999.0000 機種区分 : FG1						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力 : Sd2 = Kn/Un 4欄:年間標準運転日数(日/年) : Un						
5欄:年間標準供用日数(日/年) : Kn 代価表切替区分 : NF2 = 1.0000						
積算方法区分(1=損料, 11=賃料) : Nfg2 = 1.0000 規格区分(2) : NK2						
機種区分 : NFG1 = 1.0000 労務区分(0無, 1特選, 2一運, 3特作) : RF = 3.0000						
1日当り労務数量(人)入力 : Rd2 = 1.0000 燃料(0無, 1D, 2G, 3E, 4重陸, 5重海) : NF = 1.0000						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力 : Nd2 = Ns*kW*T 運転日当り運転時間(h/日) : T						
消費率(L/kWh-h又はkWh/kW) : Ns 機関出力(kW) : kW <小型パッカー (指定事項)>						
規格区分(2) : NK2a = 0.0800 機種区分 : NFG1a = 1.0000						
代価表単位換算 : FG2a = 1.0000 運転1日当り運転時間(h/日) : Ta = 6.5000						
労務区分(0無, 1特選, 2一運, 3特作) : RFa = 3.0000						

代価表

D- 9号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
燃料(0無, 1D, 2G, 3E, 4重陸, 5重海) : NFa = 1.0000 代価表切替区分 : NF2a = 1.0000						
1日当り労務数量(人)入力 : Rd2a = 1.0000 1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力 : Nd2a = 17.0000						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力 : Sd2a = 1.7800 <上位代価より受け取る変数>						
施工区分 : SEK 埋戻土の計上区分 : UMK						
埋戻土量算出方法 : s4fg 埋戻土量算出方法レベル変数 : L_S4						
燃料の算出方法 : Nss = 1.0000 埋戻土使用量入力区分 : UMnk						
積算方式 : Nest = 2.0000 積算方法レベル : Nest1 = 2.0000						
積算方式 : ESTA = 2.0000 積算方法レベル : ESTLA = 2.0000						
積算方式 : ESTB = 2.0000 積算方法レベル : ESTLB = 3.0000						
機種区分レベル : 1f`01 機種区分 : fg`24						
機種区分レベル : 1f`24 機種区分 : fg`01						
埋戻し土選択区分 : FG_UM 土質変化率選択レベル : L`dk						
施工区分選択レベル : L`sek 埋戻土使用量切替区分 : UK = 1.0000						
山の締固め数量切替区分 : TSK = 1.0000 <発注者より受け取る変数>						



代価表

D- 10号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
小型バックホ(排対1次) クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)	日				1号単価表 43頁	
クワ及びボラマ(賃料) 質量60~80kg	日				2号単価表 48頁	
諸雑費	式				調整金	
計						
1 m3 当り						
埋戻土の計上：計上しない						
施工区分：機械投入-締固め；世話役(人/100m3), 普通作業員(人/100m3), クワ運転(日/100m3), クワ日当り施工量(m3/日)						
クワ：クワ及びボラマ(賃料)；質量60~80kg						
小型バックホ規格選択：クロー型山積0.08m3						
(小型バックホ)排対機械の選択：排対策型(第1次基準値)						
岩石補正：補正なし						
小型バックホ：小型バックホ(排対1次)；クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)						

代価表

D- 10号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
<歩掛数値の計算>						
世話役(人)：S1 = if(SFK3==1, S1a, S1b) = 2.5000						
世話役(人) 下水維持以外：S1a = 2.5000						
世話役(人) 下水維持：S1b = 0						
普通作業員(人)：S2 = if(SFK3==1, S2a, S2b) = 6.8000						
普通作業員(人) 下水維持以外：S2a = 6.8000						
普通作業員(人) 下水維持：S2b = 3.6700						
埋戻土(m3又は各単位)：S3 = if(S3FG==1, if(S4FG==1, S3a, S3b), S3b)						
埋戻土(m3) (計算算出)：S3a = if(FG_UM == 0, if(DK == i, f, f1) * AT, S3a')						
埋戻土(m3/100m3)：S3a'						
土量変化率(L/C) 再生資材以外：f = L/C						
土量変化率(L/C) 再生資材：f1 = L/C						
変化率L：L						
変化率C：C						
埋戻土(各単位)(直接入力)：S3b = if(FG_UM == 0, if(UMnk == 0, S3b2*AT, S3b3), S3b')						
埋戻土(各単位/100m3)(直接入力)：S3b'						
埋戻土(各単位/m3)：S3b2						
埋戻土(各単位/100m3)：S3b3						
埋戻土単位選択：S3FG						
バックホ運転(日又は時間) 切替：S4 = if(SFK3==1, if(k==0, 0, S4a), S4b) = 1.7540						
バックホ運転(日又は時間) 下水維持以外：S4a = if(SFK1==1, S4a1, S4a2) = 1.7540						
小型バックホ運転(日) 下水維持以外：S4a1 = 1*LD = 1.7540						
バックホ運転(時間) 下水維持以外：S4a2						
バックホ運転(日) 下水維持：S4b = 1*if(A > V, 1, V/A)						
クワ運転(日) 切替：S5 = if(SFK11==2, 0, if(SFK3==1, S5a, S5b)) = 3.0000						
クワ運転(m3又は日) 下水維持以外：S5a = 3.0000						
クワ運転(日) 下水維持：S5b = 1*if(A > V, 1, V/A)						
クワ締固め(m3)：S6 = if(SFK11==2, S5a, 0)						

代価表

D- 10号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
代価表当り数量(m3) : AT = 100.0000						
代価表単位当りの作業日数(日) : LD = AT/Da = 1.7544						
日当り施工量(m3/日) バックホ機械投入 : Da = 57.0000						
日当り施工量(m3/日) タンバ 締固め : Db = 36.0000						
<下水維持の作業量計算>						
1日当り標準作業量(m3/日) : V = 17.1000						
1日当り設計(発注)作業量(m3/日) : A						
<積算方式の切替>						
積算方式(切替) : SEPKN = if(FieK == 1, Nest,						
積算方法(切替) : if(0 <= SEPKN - ESTLA, ESTLB), Nest,						
if(0 <= Org == 1, ESTLA, ESTLB)) = 2.0000						
<内部変数>						
日当り施工量(m3/日) : QPD = if(A=0, (1/(1/Da-1/Db)), A) = 22.0645						
省庁区分 : SF = 9.0000						
バックホ機種区分 : SFK1 = 1.0000						
土質区分 : SFK2 = 1.0000						
歩操区分 : SFK3 = 1.0000						
運転費区分 : SFK10						
タンバ 動作区分 : SFK11 = 3.0000						
工種区分 : SFK12 = 2.0000						
省庁区分指定(タンバ) : SFA						
省庁区分指定(バックホ) : SFAb						
埋戻土量算出方法 : S4FG						
埋戻土量算出方法切替区分 : s4fga = if(s4fg > 0, s4fg, s4fgb)						
埋戻土量算出切替区分 : s4fgb						
燃料の算出方法区分 : nss = 1.0000						
土量変化率切替区分 : DK						

代価表

D- 10号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
発注分野区分 : FieK = if(0 <= Fie == 2, 2,						
積算方式 : EST1(2, 1)) = 1.0000						
埋戻材料区分 : Y_UZ						
土質変化率選択区分 : ty_dk						
土質変化率切替区分 : DHK = 1.0000						
バックホ規格区分 : BK						
<タンバ 運転費>						
機種区分 : FGa = 17.0000						
規格区分 : Kal = 387.0000						
<バックホ運転費に送る変数:共通>						
単価表区分 : FG = 1.0000						
機種区分 : FG`24 = 12.0000						
機種区分 : FG`01						
損料・賃料区分 : FG2 = 1.0000						
工種・規格区分又は規格区分(平積m3) : K = 99999.0000						
規格区分(t吊) : K2 = if(K >= 0.35, 2.9, 0) = 2.9000						
岩石作業による運転損料補正 : GH = 1.0000						
特殊規格の基礎価格補正率有無 : cFG = 2.0000						
特殊規格の基礎価格加減額有無 : dFG = 2.0000						
全て標準値を適用する場合 : DFG = if(SFK1=3, 2, 1) = 1.0000						
<バックホ(指定事項)>						
運転日当り運転時間適用方法 : TFG = 1.0000						
供用日当り運転時間適用方法 : tFG = 1.0000						
運転労務数量適用方法 : RFG = 2.0000						
1h当り運転労務(人/h)工種指定 : R2a						
燃料又は電力数量適用方法 : NFG = 2.0000						
1h当り燃料又は電力量 工種指定 : N2a						
損料数量適用方法 : SFG = 2.0000						

代価表

D- 10号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1h当り損料(賃料)数量 工種指定 : Sa2 <小型バックホ (燃料, 供用日数計算算出)>						
工種・規格区分 : K3 = 99999.0000						
機種区分 : FG1						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力 : Sd2 = Kn/Un						
4欄:年間標準運転日数(日/年) : Un						
5欄:年間標準供用日数(日/年) : Kn						
代価表切替区分 : NF2 = 1.0000						
積算方法区分(1=損料, 11=賃料) : NFg2 = 1.0000						
規格区分(2) : NK2						
機種区分 : NFG1 = 1.0000						
労務区分(0無, 1特運, 2一運, 3特作) : RF = 3.0000						
1日当り労務数量(人)入力 : Rd2 = 1.0000						
燃料(0無, 1D, 2G, 3E, 4重陸, 5重海) : NF = 1.0000						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力 : Nd2 = Ns*kW*T						
運転日当り運転時間(h/日) : T						
消費率(L/kW-h又はkWh/kW) : Ns						
機関出力(kW) : kW						
<小型バックホ (指定事項)>						
規格区分(2) : NK2a = 0.0800						
機種区分 : NFG1a = 1.0000						
代価表単位換算 : FG2a = 1.0000						
運転1日当り運転時間(h/日) : Ta = 6.5000						
労務区分(0無, 1特運, 2一運, 3特作) : RFa = 3.0000						
燃料(0無, 1D, 2G, 3E, 4重陸, 5重海) : NFa = 1.0000						
代価表切替区分 : NF2a = 1.0000						
1日当り労務数量(人)入力 : Rd2a = 1.0000						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力 : Nd2a = 17.0000						

代価表

D- 10号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力 : Sd2a = 1.7800 <上位代価より受け取る変数>						
施工区分 : SEK						
埋戻土の計上区分 : UMK						
埋戻土量算出方法 : s4fg						
埋戻土量算出方法レベル変数 : L`S4						
燃料の算出方法 : Nss = 1.0000						
埋戻土使用量入力区分 : UMnk						
積算方式 : Nest = 2.0000						
積算方法レベル : Nest1 = 2.0000						
積算方式 : ESTA = 2.0000						
積算方法レベル : ESTLA = 2.0000						
積算方式 : ESTB = 2.0000						
積算方法レベル : ESTLB = 3.0000						
機種区分レベル : 1f`01						
機種区分 : fg`24						
機種区分レベル : 1f`24						
機種区分 : fg`01						
埋戻し土選択区分 : FG`UM						
土質変化率選択レベル : L`dk						
施工区分選択レベル : L`sek						
埋戻土使用量切替区分 : UK = 1.0000						
クハ 締固め数量切替区分 : TSK = 1.0000						
<発注者より受け取る変数>						
発注機関レベル : 0`Org = 2.0000						
発注分野 : 0`Fie = 1.0000						

代価表

現地処分土砂工  
タンバ及びランマ(賃料)質量60~80kg

D-11号代価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
ガソリン レキユースタン	L					[参考:物資R08.02] [P34001 TIPC00014]
<貸>タンバ(ランマ) 質量60~80kg	日					[参考:物資R07.10] [FQ0001 KTPC00020]
諸雑費	式				調整金	
計						
1日当り						
条件選択：一般土木 施工歩掛：一般規模 埋戻工(港湾は「機械盛土工」):賃料 60~80kg ; 一般土木:番号, 労務, 燃料等, 機械 (タンバ)賃料長期割引の適用：長期割引あり ガソリン：ガソリン；レキユースタン						
<歩掛数値> 1日当り労務数量(人)工種選択：Rd = 1.0000 1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)工種選択：Nd = 4.5000 1日当り損料又は賃料数量(供用日)工種選択：Sd = 1.3800 1日当り労務数量(人)入力：Rd2 1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力：Nd2						

代価表

現地処分土砂工  
タンバ及びランマ(賃料)質量60~80kg

D-11号代価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力：Sd2 <運転日数率・供用日数率> 運転日数率： $\alpha = \alpha Z * tOS - \alpha H * (1 - tOS)$ 運転日数率(小数2位止め)： $\alpha Z = Un / Kn$ 運転日数率(有効2桁止め)： $\alpha H = Un / Kn$ $\alpha$ の切替(1=小数1位, 0=有効2桁止)： $tOS = 1.0000$ 供用日数率： $\alpha 2 = Kn / Un$ <損料計算> (9欄 補正後)運転1日当り損料(円)：UgS = UgSa 運転1日当り損料(円/日)丸め：UgSa = INT(KK*Ugr*10 <sup>6</sup> (-6)*10) / 10 (11欄 補正後)供用1日当り損料：KnS = KnSa 供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(KnSb*b1*10) / 10 供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = KnSc*KnSS-KnSd*(1-KnSS) 供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(KK*Knr*10 <sup>6</sup> (-6)*10) / 10 供用1日当り損料率(概算)(*10 <sup>6</sup> )：Knr = KnSd / (KK*1000)*10 <sup>6</sup> 供用1日損料切替(0=特殊加減なし)：KnSS = MIN(SH5, 1) (15欄 補正後)供用1日当換算損料：SnK = SnKa*SnHS - (SnKb*SnKS - SnKc*(1-SnKS))*(1-SnHS) 供用1日当換算損料 15欄から：SnKa = INT(KnK*(c/100-1)*10) / 10 供用1日換算損料 9・11欄、 $\alpha$ 使用：SnKb = INT((UgS*a1*a2+KnS*b2/α)*(c/100-1)*α*10) / 10 供用1日換算損料 9・11欄、 $\alpha 2$ 使用：SnKc = INT((UgS/α 2*a1*a2-KnS*b2)*(c/100-1)*10) / 10 供用1日換算損料計算切替(1=α)：SnKS = 1.0000 換算損料切替(1=13・15, 0=9・11欄)：SnHS 補正後基礎価格(円/台)：KK = KKa 補正後基礎価格(円/台)丸め：KKa = INT((KK*1000-d)*10) / 10 9欄に掛ける補正值(岩石作業)：a1 9欄に掛ける補正值(交替作業)：a2 11欄に掛ける補正值(豪雪地帯)：b 11欄に掛ける補正值(11欄丸め)：b1 = 1*bS-b*(1-bS)						

代価表

現地処分土砂工  
クハ及びランマ(質料)質量60~80kg

D-11号代価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = b \cdot bS - 1 \cdot (1 - bS) = 1.0000$						
補正丸めタイミング(0=11, 1=13・15欄) : bS						
特殊規格による補正(%) : c						
特殊規格の基礎価格加減額(円) : d						
<損料諸条件>						
1欄:基礎価格(千円/台) : KKS						
4欄:年間標準運転日数(日/年) : Un						
5欄:年間標準供用日数(日/年) : Kn						
8欄:運転1日当り損料率(*10 <sup>-6</sup> ) : Ugr						
11欄:供用1日当り損料(円/供用日) : KnSd						
15欄:供用1日当り換算損料(円/日) : KnK						
<内部変数(損料補正有無)>						
損料補正有無(総合) : $SHT = SH1 - SH3 - SH4 - SH5 = -3.0000$						
損料補正有無(交替作業) : $SH1 = a2 - 1 = -1.0000$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = a1 - 1 = -1.0000$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = b - 1 = -1.0000$						
損料補正有無(特殊規格加減算) : $SH5 = (d \cdot d)^{1/2}$						
<内部変数(選択内容)>						
規格区分(1)(絶対値) : $NK = (NKa \cdot NKa)^{1/2} = 100.0000$						
規格区分(1)(質問表から) : $NKa = 100.0000$						
規格区分(2) : $NK2 = 100.0000$						
工種区分(絶対値) : $NK3 = (NK3a \cdot NK3a)^{1/2} = 387.0000$						
工種区分(質問表から) : $NK3a = 387.0000$						
機種区分 : $NFG1 = 1.0000$						
積算方法区分(1=損料, 11=質料) : $Nfg2 = 11.0000$						
豪雪補正丸めタイミング区分 : $NSJ = 1.0000$						
労務区分(0無, 1特運, 2一運, 3特作) : $RF = 3.0000$						
燃料(0無, 1D, 2G, 3E, 4重陸, 5重海) : $NF = 2.0000$						

代価表

現地処分土砂工  
クハ及びランマ(質料)質量60~80kg

D-11号代価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
省庁区分 単独実行時自由選択用 : $SF2 = \text{if}(SFA=0, \text{if}(K=0, 0, SF4), SFA)$						
省庁区分 質問3以降用 : $SF3 = 1.0000$						
省庁区分 標準適用省庁 : $SF4 = 1.0000$						
<内部変数(工種による動作制御)>						
省庁区分(指定) : SFA						
省庁区分 : $SF = 1.0000$						
損料単位区分(1=時間, 2~4=日) : $TF = 2 = 2.0000$						
区分(1陸, 2海, 3 <sup>1</sup> A, 4 <sup>2</sup> B, 5噴) : $LF = 1 = 1.0000$						
<親から受け取る変数>						
機種区分 : FG1						
燃料・電力区分 : FG3						
工種・規格区分 : K						
豪雪地域供用損料補正有無区分 : bFG						
豪雪地域供用損料補正丸め区分 : bFG2						
岩石作業による運転損料補正 : $GH = 1 = 1.0000$						
交替作業による運転損料補正 : $KH = 1 = 1.0000$						
賃貸料金(9-s)長期割引の適用区分 : CW						
特殊規格の基礎価格補正率有無 : cFG						
特殊規格の基礎価格加減額有無 : dFG						
その他(%) : other						
<レベル変数>						
賃貸料金(9-s)長期割引の適用区分レベル : L_CW						

### 単価表

小型バックホ(排対1次)  
クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)

1号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
軽油 小型ローバトロー給油	L					[(参考:物資R08.02)] [P34029 TTPC00013]
小型バックホ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クロー型・山積0.08 m3(平積0.06m3)	供用日					[R7建設機械等損料表] [0201-112-006-001]
諸雑費	式				調整金	
計						
1日当り						
1日当り(又は時間当り)損料又は賃料数量 : Sd2=1.78供用日 供用損料に対する補正 : 単価管理で設定した損料を適用 : ; 11欄に掛ける補正值:建設機械 (陸上)						
1日当り(又は時間当り)労務数量 : Rd2=1人 軽油 : 軽油 ; 小型ローバトロー給油						
1日当り(又は時間当り)燃料又は電力数量 : Nd2=17L, kWh						
<歩掛数値>						
1日当り労務数量(人)工種選択 : Rd						
1h当り労務数量(人) : Rd1 = if(Rd2 > 0, Rd2, Rd) / T = 0.1500						
1日当り労務数量(人)入力 : Rd2 = 1.0000						

1 頁

### 単価表

小型バックホ(排対1次)  
クロー型・山積0.08m3(平積0.06m3)

1号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)工種選択 : Nd						
1h当り燃料又は電力数量(L, kWh):採用値 : Nd1 = if(s_Nd1 == 1, Nd1a, Nd1b) = 2.6000						
1h当り燃料・電力数量(L, kWh):発注者丸め : Nd1a = if(Nd2 > 0, Nd2, Nd) / T = 2.6000						
1h当り燃料・電力数量(L, kWh):固定丸め : Nd1b = if(Nd2 > 0, Nd2, Nd) / T = 2.6200						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力 : Nd2 = 17.0000						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)工種選択 : Sd						
1h当り損料又は賃料数量(供用日) : Sd1 = if(Sd2 > 0, Sd2, Sd) / T = 0.2700						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力 : Sd2 = 1.7800						
<運転日数率・供用日数率>						
運転日数率 : $\alpha = \alpha Z * t0S + \alpha H * (1 - t0S) = 0.5600$						
運転日数率(小教2位止め) : $\alpha Z = Un / Kn = 0.5600$						
運転日数率(有効2桁止め) : $\alpha H = Un / Kn = 0.5600$						
$\alpha$ の切替(1=小教1位, 0=有効2桁止) : t0S = 1.0000						
供用日数率 : $\alpha 2 = Kn / Un = 1.7800$						
<損料計算>						
(9欄 補正後)運転1日当り損料(円) : UgS = UgSa = 2530.0000						
運転1日当り損料(円/日)丸め : UgSa = INT(KK*Ugr*10 <sup>-6</sup> )/10 = 2530.0000						
(11欄 補正後)供用1日当り損料 : KnS = KnSa = 3290.0000						
供用1日当り損料(円/日)察警あり : KnSa = INT(KnSb*b1*10)/10 = 3290.0000						
供用1日当り損料(円/日)察警なし : KnSb = KnSc*KnSS-KnSd*(1-KnSS) = 3290.0000						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : KnSc = INT(KK*Knr*10 <sup>-6</sup> )/10 = 3290.0000						
供用1日当り損料率(概算)(*10 <sup>-6</sup> ) : Knr = KnSd/(KK*1000)*10 <sup>-6</sup> = 985.0000						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし) : KnSS = MIN(SH5, 1)						
(15欄 補正後)供用1日当換算損料 : SnK = SnKa+SnHS-(SnKb*SnKS-SnKc*(1-SnKS))*(1-SnHS) = 4810.0000						
供用1日当り換算損料 15欄から : SnKa = INT(KnK*(c/100-1)*10)/10 = 4810.0000						
供用1日換算損料 9・11欄、 $\alpha$ 使用 : SnKb = INT((UgS*a1*a2+KnS*b2/c)*(c/100-1)* $\alpha$ )/10 = 4710.0000						
供用1日換算損料 9・11欄、 $\alpha$ 2使用 : SnKc = INT((UgS/a 2*a1*a2-KnS*b2)*(c/100-1)*10)/10 = 4710.0000						
供用1日換算損料計算切替(1= $\alpha$ ) : SnKS = 1.0000						

2 頁

### 単価表

小型パッカの(排対1次)  
クワ型・山積0.08m3(平積0.06m3)

1号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
換算損料切替(1=13・15, 0=9・11欄) : SnHS = 1.0000						
補正後基礎価格(円/台) : KK = KKa = 3340000.0000						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((KKS*1000-d)*10)/10 = 3340000.0000						
9欄に掛ける補正值(岩石作業) : a1 = 1.0000						
9欄に掛ける補正值(交替作業) : a2 = 1.0000						
11欄に掛ける補正值(豪雪地域) : b = 1.0000						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*bS-b*(1-bS) = 1.0000						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = b*bS-1*(1-bS) = 1.0000						
補正丸めタイミング(0=11, 1=13・15欄) : bS						
特殊規格による補正(%) : c						
特殊規格の基礎価格加減額(円) : d						
<損料諸条件>						
1欄:基礎価格(千円/台) : KKS = 3340.0000						
4欄:年間標準運転日数(日/年) : Un = 90.0000						
5欄:年間標準供用日数(日/年) : Kn = 160.0000						
8欄:運転1日当り損料率(*10^-6) : Ugr = 756.0000						
11欄:供用1日当り損料(円/供用日) : KnSd = 3290.0000						
15欄:供用1日当り換算損料(円/日) : KnK = 4810.0000						
<内部変数(損料補正有無)>						
損料補正有無(総合) : SHT = SH1-SH3-SH4-SH5						
損料補正有無(交替作業) : SH1 = a2-1						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(^SYSV >= 8, 0, a1-1)						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = b-1						
損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (d*d)^(1/2)						
<内部変数(選択内容)>						
規格区分(1)(絶対値) : NK = (NKa*NKa)^(1/2) = 0.0800						
規格区分(1)(質問表から) : NKa = 0.0800						
規格区分(2) : NK2 = 0.0800						

3 頁

### 単価表

小型パッカの(排対1次)  
クワ型・山積0.08m3(平積0.06m3)

1号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
工種区分(絶対値) : NK3 = (NK3a*NK3a)^(1/2)						
工種区分(質問表から) : NK3a						
機種区分 : NFG1 = 1.0000						
積算方法区分(1=損料, 11=賃料) : Nfg2 = 1.0000						
豪雪補正丸めタイミング区分 : NSJ = 1.0000						
労務区分(0無, 1特運, 2一運, 3特作) : RF = 3.0000						
燃料(0無, 1D, 2G, 3E, 4重陸, 5重海) : NF = 1.0000						
代価表切替区分 : NF2 = 1.0000						
代価表単位換算 : NF2B = 1.0000						
省庁区分 単独実行時自由選択用 : SF2 = if(SFA=0, if(K=0.0, SF4), SFA) = 1.0000						
省庁区分 質問3以降用 : SF3						
省庁区分 標準適用省庁 : SF4 = 1.0000						
<内部変数(工種による動作制御)>						
省庁区分 : SF = 1.0000						
損料単位区分(1=時間, 2^4=日) : TF = 2 = 2.0000						
区分(1陸, 2海, 3^4A, 4^4B, 5雪) : LF = 1 = 1.0000						
Gaiaシステム区分 : ^SYSV = 10.0000						
発注機種のレベル(国, 都道府県等) : 0^Org = 2.0000						
岩石補正(工事区分) : 0^Gh						
岩石補正損料区分 : GHa = if(^SYSV=0, 1, a1- if(a1=1, 0, if(SF=10, if(0^Org=1, 10, if(0^Org=2, 10, if(0^Org=3, 10, if(0^Org=4, 10, if(0^Org=5, 10, if(0^Org=6, 10, if(0^Org=7, 10, if(0^Org=8, 10, if(0^Org=9, 10, if(0^Org=10, 10, if(0^Org=11, 10, if(0^Org=12, 10, if(0^Org=13, 10, if(0^Org=14, 10, if(0^Org=15, 10, if(0^Org=16, 10, if(0^Org=17, 10, if(0^Org=18, 10, if(0^Org=19, 10, if(0^Org=20, 10, if(0^Org=21, 10, if(0^Org=22, 10, if(0^Org=23, 10, if(0^Org=24, 10, if(0^Org=25, 10, if(0^Org=26, 10, if(0^Org=27, 10, if(0^Org=28, 10, if(0^Org=29, 10, if(0^Org=30, 10, if(0^Org=31, 10, if(0^Org=32, 10, if(0^Org=33, 10, if(0^Org=34, 10, if(0^Org=35, 10, if(0^Org=36, 10, if(0^Org=37, 10, if(0^Org=38, 10, if(0^Org=39, 10, if(0^Org=40, 10, if(0^Org=41, 10, if(0^Org=42, 10, if(0^Org=43, 10, if(0^Org=44, 10, if(0^Org=45, 10, if(0^Org=46, 10, if(0^Org=47, 10, if(0^Org=48, 10, if(0^Org=49, 10, if(0^Org=50, 10, if(0^Org=51, 10, if(0^Org=52, 10, if(0^Org=53, 10, if(0^Org=54, 10, if(0^Org=55, 10, if(0^Org=56, 10, if(0^Org=57, 10, if(0^Org=58, 10, if(0^Org=59, 10, if(0^Org=60, 10, if(0^Org=61, 10, if(0^Org=62, 10, if(0^Org=63, 10, if(0^Org=64, 10, if(0^Org=65, 10, if(0^Org=66, 10, if(0^Org=67, 10, if(0^Org=68, 10, if(0^Org=69, 10, if(0^Org=70, 10, if(0^Org=71, 10, if(0^Org=72, 10, if(0^Org=73, 10, if(0^Org=74, 10, if(0^Org=75, 10, if(0^Org=76, 10, if(0^Org=77, 10, if(0^Org=78, 10, if(0^Org=79, 10, if(0^Org=80, 10, if(0^Org=81, 10, if(0^Org=82, 10, if(0^Org=83, 10, if(0^Org=84, 10, if(0^Org=85, 10, if(0^Org=86, 10, if(0^Org=87, 10, if(0^Org=88, 10, if(0^Org=89, 10, if(0^Org=90, 10, if(0^Org=91, 10, if(0^Org=92, 10, if(0^Org=93, 10, if(0^Org=94, 10, if(0^Org=95, 10, if(0^Org=96, 10, if(0^Org=97, 10, if(0^Org=98, 10, if(0^Org=99, 10, if(0^Org=100, 10, if(0^Org=101, 10, if(0^Org=102, 10, if(0^Org=103, 10, if(0^Org=104, 10, if(0^Org=105, 10, if(0^Org=106, 10, if(0^Org=107, 10, if(0^Org=108, 10, if(0^Org=109, 10, if(0^Org=110, 10, if(0^Org=111, 10, if(0^Org=112, 10, if(0^Org=113, 10, if(0^Org=114, 10, if(0^Org=115, 10, if(0^Org=116, 10, if(0^Org=117, 10, if(0^Org=118, 10, if(0^Org=119, 10, if(0^Org=120, 10, if(0^Org=121, 10, if(0^Org=122, 10, if(0^Org=123, 10, if(0^Org=124, 10, if(0^Org=125, 10, if(0^Org=126, 10, if(0^Org=127, 10, if(0^Org=128, 10, if(0^Org=129, 10, if(0^Org=130, 10, if(0^Org=131, 10, if(0^Org=132, 10, if(0^Org=133, 10, if(0^Org=134, 10, if(0^Org=135, 10, if(0^Org=136, 10, if(0^Org=137, 10, if(0^Org=138, 10, if(0^Org=139, 10, if(0^Org=140, 10, if(0^Org=141, 10, if(0^Org=142, 10, if(0^Org=143, 10, if(0^Org=144, 10, if(0^Org=145, 10, if(0^Org=146, 10, if(0^Org=147, 10, if(0^Org=148, 10, if(0^Org=149, 10, if(0^Org=150, 10, if(0^Org=151, 10, if(0^Org=152, 10, if(0^Org=153, 10, if(0^Org=154, 10, if(0^Org=155, 10, if(0^Org=156, 10, if(0^Org=157, 10, if(0^Org=158, 10, if(0^Org=159, 10, if(0^Org=160, 10, if(0^Org=161, 10, if(0^Org=162, 10, if(0^Org=163, 10, if(0^Org=164, 10, if(0^Org=165, 10, if(0^Org=166, 10, if(0^Org=167, 10, if(0^Org=168, 10, if(0^Org=169, 10, if(0^Org=170, 10, if(0^Org=171, 10, if(0^Org=172, 10, if(0^Org=173, 10, if(0^Org=174, 10, if(0^Org=175, 10, if(0^Org=176, 10, if(0^Org=177, 10, if(0^Org=178, 10, if(0^Org=179, 10, if(0^Org=180, 10, if(0^Org=181, 10, if(0^Org=182, 10, if(0^Org=183, 10, if(0^Org=184, 10, if(0^Org=185, 10, if(0^Org=186, 10, if(0^Org=187, 10, if(0^Org=188, 10, if(0^Org=189, 10, if(0^Org=190, 10, if(0^Org=191, 10, if(0^Org=192, 10, if(0^Org=193, 10, if(0^Org=194, 10, if(0^Org=195, 10, if(0^Org=196, 10, if(0^Org=197, 10, if(0^Org=198, 10, if(0^Org=199, 10, if(0^Org=200, 10, if(0^Org=201, 10, if(0^Org=202, 10, if(0^Org=203, 10, if(0^Org=204, 10, if(0^Org=205, 10, if(0^Org=206, 10, if(0^Org=207, 10, if(0^Org=208, 10, if(0^Org=209, 10, if(0^Org=210, 10, if(0^Org=211, 10, if(0^Org=212, 10, if(0^Org=213, 10, if(0^Org=214, 10, if(0^Org=215, 10, if(0^Org=216, 10, if(0^Org=217, 10, if(0^Org=218, 10, if(0^Org=219, 10, if(0^Org=220, 10, if(0^Org=221, 10, if(0^Org=222, 10, if(0^Org=223, 10, if(0^Org=224, 10, if(0^Org=225, 10, if(0^Org=226, 10, if(0^Org=227, 10, if(0^Org=228, 10, if(0^Org=229, 10, if(0^Org=230, 10, if(0^Org=231, 10, if(0^Org=232, 10, if(0^Org=233, 10, if(0^Org=234, 10, if(0^Org=235, 10, if(0^Org=236, 10, if(0^Org=237, 10, if(0^Org=238, 10, if(0^Org=239, 10, if(0^Org=240, 10, if(0^Org=241, 10, if(0^Org=242, 10, if(0^Org=243, 10, if(0^Org=244, 10, if(0^Org=245, 10, if(0^Org=246, 10, if(0^Org=247, 10, if(0^Org=248, 10, if(0^Org=249, 10, if(0^Org=250, 10, if(0^Org=251, 10, if(0^Org=252, 10, if(0^Org=253, 10, if(0^Org=254, 10, if(0^Org=255, 10, if(0^Org=256, 10, if(0^Org=257, 10, if(0^Org=258, 10, if(0^Org=259, 10, if(0^Org=260, 10, if(0^Org=261, 10, if(0^Org=262, 10, if(0^Org=263, 10, if(0^Org=264, 10, if(0^Org=265, 10, if(0^Org=266, 10, if(0^Org=267, 10, if(0^Org=268, 10, if(0^Org=269, 10, if(0^Org=270, 10, if(0^Org=271, 10, if(0^Org=272, 10, if(0^Org=273, 10, if(0^Org=274, 10, if(0^Org=275, 10, if(0^Org=276, 10, if(0^Org=277, 10, if(0^Org=278, 10, if(0^Org=279, 10, if(0^Org=280, 10, if(0^Org=281, 10, if(0^Org=282, 10, if(0^Org=283, 10, if(0^Org=284, 10, if(0^Org=285, 10, if(0^Org=286, 10, if(0^Org=287, 10, if(0^Org=288, 10, if(0^Org=289, 10, if(0^Org=290, 10, if(0^Org=291, 10, if(0^Org=292, 10, if(0^Org=293, 10, if(0^Org=294, 10, if(0^Org=295, 10, if(0^Org=296, 10, if(0^Org=297, 10, if(0^Org=298, 10, if(0^Org=299, 10, if(0^Org=300, 10, if(0^Org=301, 10, if(0^Org=302, 10, if(0^Org=303, 10, if(0^Org=304, 10, if(0^Org=305, 10, if(0^Org=306, 10, if(0^Org=307, 10, if(0^Org=308, 10, if(0^Org=309, 10, if(0^Org=310, 10, if(0^Org=311, 10, if(0^Org=312, 10, if(0^Org=313, 10, if(0^Org=314, 10, if(0^Org=315, 10, if(0^Org=316, 10, if(0^Org=317, 10, if(0^Org=318, 10, if(0^Org=319, 10, if(0^Org=320, 10, if(0^Org=321, 10, if(0^Org=322, 10, if(0^Org=323, 10, if(0^Org=324, 10, if(0^Org=325, 10, if(0^Org=326, 10, if(0^Org=327, 10, if(0^Org=328, 10, if(0^Org=329, 10, if(0^Org=330, 10, if(0^Org=331, 10, if(0^Org=332, 10, if(0^Org=333, 10, if(0^Org=334, 10, if(0^Org=335, 10, if(0^Org=336, 10, if(0^Org=337, 10, if(0^Org=338, 10, if(0^Org=339, 10, if(0^Org=340, 10, if(0^Org=341, 10, if(0^Org=342, 10, if(0^Org=343, 10, if(0^Org=344, 10, if(0^Org=345, 10, if(0^Org=346, 10, if(0^Org=347, 10, if(0^Org=348, 10, if(0^Org=349, 10, if(0^Org=350, 10, if(0^Org=351, 10, if(0^Org=352, 10, if(0^Org=353, 10, if(0^Org=354, 10, if(0^Org=355, 10, if(0^Org=356, 10, if(0^Org=357, 10, if(0^Org=358, 10, if(0^Org=359, 10, if(0^Org=360, 10, if(0^Org=361, 10, if(0^Org=362, 10, if(0^Org=363, 10, if(0^Org=364, 10, if(0^Org=365, 10, if(0^Org=366, 10, if(0^Org=367, 10, if(0^Org=368, 10, if(0^Org=369, 10, if(0^Org=370, 10, if(0^Org=371, 10, if(0^Org=372, 10, if(0^Org=373, 10, if(0^Org=374, 10, if(0^Org=375, 10, if(0^Org=376, 10, if(0^Org=377, 10, if(0^Org=378, 10, if(0^Org=379, 10, if(0^Org=380, 10, if(0^Org=381, 10, if(0^Org=382, 10, if(0^Org=383, 10, if(0^Org=384, 10, if(0^Org=385, 10, if(0^Org=386, 10, if(0^Org=387, 10, if(0^Org=388, 10, if(0^Org=389, 10, if(0^Org=390, 10, if(0^Org=391, 10, if(0^Org=392, 10, if(0^Org=393, 10, if(0^Org=394, 10, if(0^Org=395, 10, if(0^Org=396, 10, if(0^Org=397, 10, if(0^Org=398, 10, if(0^Org=399, 10, if(0^Org=400, 10, if(0^Org=401, 10, if(0^Org=402, 10, if(0^Org=403, 10, if(0^Org=404, 10, if(0^Org=405, 10, if(0^Org=406, 10, if(0^Org=407, 10, if(0^Org=408, 10, if(0^Org=409, 10, if(0^Org=410, 10, if(0^Org=411, 10, if(0^Org=412, 10, if(0^Org=413, 10, if(0^Org=414, 10, if(0^Org=415, 10, if(0^Org=416, 10, if(0^Org=417, 10, if(0^Org=418, 10, if(0^Org=419, 10, if(0^Org=420, 10, if(0^Org=421, 10, if(0^Org=422, 10, if(0^Org=423, 10, if(0^Org=424, 10, if(0^Org=425, 10, if(0^Org=426, 10, if(0^Org=427, 10, if(0^Org=428, 10, if(0^Org=429, 10, if(0^Org=430, 10, if(0^Org=431, 10, if(0^Org=432, 10, if(0^Org=433, 10, if(0^Org=434, 10, if(0^Org=435, 10, if(0^Org=436, 10, if(0^Org=437, 10, if(0^Org=438, 10, if(0^Org=439, 10, if(0^Org=440, 10, if(0^Org=441, 10, if(0^Org=442, 10, if(0^Org=443, 10, if(0^Org=444, 10, if(0^Org=445, 10, if(0^Org=446, 10, if(0^Org=447, 10, if(0^Org=448, 10, if(0^Org=449, 10, if(0^Org=450, 10, if(0^Org=451, 10, if(0^Org=452, 10, if(0^Org=453, 10, if(0^Org=454, 10, if(0^Org=455, 10, if(0^Org=456, 10, if(0^Org=457, 10, if(0^Org=458, 10, if(0^Org=459, 10, if(0^Org=460, 10, if(0^Org=461, 10, if(0^Org=462, 10, if(0^Org=463, 10, if(0^Org=464, 10, if(0^Org=465, 10, if(0^Org=466, 10, if(0^Org=467, 10, if(0^Org=468, 10, if(0^Org=469, 10, if(0^Org=470, 10, if(0^Org=471, 10, if(0^Org=472, 10, if(0^Org=473, 10, if(0^Org=474, 10, if(0^Org=475, 10, if(0^Org=476, 10, if(0^Org=477, 10, if(0^Org=478, 10, if(0^Org=479, 10, if(0^Org=480, 10, if(0^Org=481, 10, if(0^Org=482, 10, if(0^Org=483, 10, if(0^Org=484, 10, if(0^Org=485, 10, if(0^Org=486, 10, if(0^Org=487, 10, if(0^Org=488, 10, if(0^Org=489, 10, if(0^Org=490, 10, if(0^Org=491, 10, if(0^Org=492, 10, if(0^Org=493, 10, if(0^Org=494, 10, if(0^Org=495, 10, if(0^Org=496, 10, if(0^Org=497, 10, if(0^Org=498, 10, if(0^Org=499, 10, if(0^Org=500, 10, if(0^Org=501, 10, if(0^Org=502, 10, if(0^Org=503, 10, if(0^Org=504, 10, if(0^Org=505, 10, if(0^Org=506, 10, if(0^Org=507, 10, if(0^Org=508, 10, if(0^Org=509, 10, if(0^Org=510, 10, if(0^Org=511, 10, if(0^Org=512, 10, if(0^Org=513, 10, if(0^Org=514, 10, if(0^Org=515, 10, if(0^Org=516, 10, if(0^Org=517, 10, if(0^Org=518, 10, if(0^Org=519, 10, if(0^Org=520, 10, if(0^Org=521, 10, if(0^Org=522, 10, if(0^Org=523, 10, if(0^Org=524, 10, if(0^Org=525, 10, if(0^Org=526, 10, if(0^Org=527, 10, if(0^Org=528, 10, if(0^Org=529, 10, if(0^Org=530, 10, if(0^Org=531, 10, if(0^Org=532, 10, if(0^Org=533, 10, if(0^Org=534, 10, if(0^Org=535, 10, if(0^Org=536, 10, if(0^Org=537, 10, if(0^Org=538, 10, if(0^Org=539, 10, if(0^Org=540, 10, if(0^Org=541, 10, if						



単価表

タンバ及びランマ(賃料)  
質量60~80kg

2号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
が'リン レキ'ユラースタ'ト	L					[ (参考:物資R08.02) ] [P34001 TTPC00014]
<賃>タンバ(ランマ) 質量60~80kg	日					[ (参考:物資R07.10) ] [FQ0001 KTPC00020]
諸 雑 費	式				調整金	
計						
1日当り						
(タンバ)賃料長期割引の適用：長期割引あり が'リン：が'リン；レキ'ユラースタ'ト						
<歩掛数値>						
1日当り労務数量(人)工種選択：Rd = 1.0000						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)工種選択：Nd = 5.0000						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)工種選択：Sd = 1.3800						
1日当り労務数量(人)入力：Rd2						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力：Nd2						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力：Sd2						
<運転日数率・供用日数率>						

単価表

タンバ及びランマ(賃料)  
質量60~80kg

2号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転日数率：α = αZ*τ0S+αH*(1-τ0S)						
運転日数率(小数2位止め)：αZ = Un/Kn						
運転日数率(有効2桁止め)：αH = Un/Kn						
αの切替(1=小数1位, 0=有効2桁止)：τ0S = 1.0000						
供用日数率：α2 = Kn/Un						
<損料計算>						
(9欄 補正後)運転1日当り損料(円)：UgS = UgSa						
運転1日当り損料(円/日)丸め：UgSa = INT(KK*Ugr*10 <sup>-6</sup> *(-6)*10)/10						
(11欄 補正後)供用1日当り損料：KnS = KnSa						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(KnSb*b1*10)/10						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = KnSc*KnSS-KnSd*(1-KnSS)						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(KK*Knr*10 <sup>-6</sup> *(-6)*10)/10						
供用1日当り損料率(概算)(*10 <sup>-6</sup> )：Knr = KnSd/(KK*1000)*10 <sup>-6</sup>						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし)：KnSS = MIN(SH5, 1)						
(15欄 補正後)供用1日当換算損料：SnK = SnKa*SnHS-(SnKb*SnKS-SnKc*(1-SnKS))*(1-SnHS)						
供用1日当換算損料 15欄から：SnKa = INT(KnK*(c/100-1)*10)/10						
供用1日換算損料 9・11欄、α使用：SnKb = INT((UgS*a1*a2+KnS*b2/α)*(c/100-1)*α*10)/10						
供用1日換算損料 9・11欄、α2使用：SnKc = INT((UgS/α2*a1*a2-KnS*b2)*(c/100-1)*10)/10						
供用1日換算損料計算切替(1=α)：SnKS = 1.0000						
換算損料切替(1=13・15, 0=9・11欄)：SnHS						
補正後基礎価格(円/台)：KK = KKa						
補正後基礎価格(円/台)丸め：KKa = INT((KK*1000-d)*10)/10						
9欄に掛ける補正值(岩石作業)：a1						
9欄に掛ける補正值(交替作業)：a2						
11欄に掛ける補正值(豪雪地域)：b						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め)：b1 = 1*bS-b*(1-bS)						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め)：b2 = b*bS-1*(1-bS) = 1.0000						
補正丸めマイシゲ(0=11, 1=13・15欄)：bS						

単価表

クハ及びドラム(賃料)  
質量60 80kg

2号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊規格による補正(%) : c						
特殊規格の基礎価格加減額(円) : d						
<損料諸条件>						
1欄:基礎価格(千円/台) : KKS						
4欄:年間標準運転日数(日/年) : Un						
5欄:年間標準供用日数(日/年) : Kn						
8欄:運転1日当り損料率(*10 <sup>-6</sup> ) : Ugr						
11欄:供用1日当り損料(円/供用日) : KnSd						
15欄:供用1日当り換算損料(円/日) : KnK						
<内部変数(損料補正有無)>						
損料補正有無(総合) : SHT = SH1-SH3-SH4-SH5 = -3.0000						
損料補正有無(交替作業) : SH1 = a2-1 = -1.0000						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = a1-1 = -1.0000						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = b-1 = -1.0000						
損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (d*d) <sup>(1/2)</sup>						
<内部変数(選択内容)>						
規格区分(1)(絶対値) : NK = (NKa*NKa) <sup>(1/2)</sup> = 100.0000						
規格区分(1)(質問表から) : NKa = 100.0000						
規格区分(2) : NK2 = 100.0000						
工種区分(絶対値) : NK3 = (NK3a*NK3a) <sup>(1/2)</sup> = 387.0000						
工種区分(質問表から) : NK3a = 387.0000						
機種区分 : NFG1 = 1.0000						
積算方法区分(1=損料,11=賃料) : Nfg2 = 11.0000						
豪雪補正丸めクイシグ区分 : NSJ = 1.0000						
労務区分(0無,1特運,2一運,3特作) : RF = 3.0000						
燃料(0無,1D,2G,3E,4重陸,5重海) : NF = 2.0000						
省庁区分 単独実行時自由選択用 : SF2 = if(SFA=0, if(K=0,0,SF4),SFA) = 9.0000						
省庁区分 質問3以降用 : SF3 = 9.0000						

単価表

クハ及びドラム(賃料)  
質量60 80kg

2号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
省庁区分 標準適用省庁 : SF4 = 9.0000						
<内部変数(工種による動作制御)>						
省庁区分(指定) : SFA						
省庁区分 : SF = 9.0000						
損料単位区分(1=時間,2=日) : TF = 2 = 2.0000						
区分(1陸,2海,3 <sup>g</sup> LA,4 <sup>g</sup> LB,5雪) : LF = 1 = 1.0000						
<親から受け取る変数>						
機種区分 : FG1 = 17.0000						
燃料・電力区分 : FG3						
工種・規格区分 : K = 387.0000						
豪雪地帯供用損料補正有無区分 : bFG						
豪雪地帯供用損料補正丸め区分 : bFG2						
岩石作業による運転損料補正 : GH = 1 = 1.0000						
交替作業による運転損料補正 : KH = 1 = 1.0000						
賃貸料金(リース)長期割引の適用区分 : CW						
特殊規格の基礎価格補正率有無 : cFG						
特殊規格の基礎価格加減額有無 : dFG						
その他(%) : other						

数量計算書

博勞座送水管布設替工事

φ 100mm 送水管布設

# 数量計算書

令和 8 年 3 月



φ100mm 配水管布設

No.2

名 称	形 状 寸 法	単 位	計							備 考	
( 労 務 )											
WEETDAY-11 パイプ延管工	φ100	m	47.7	47.704							
ポリエチレン管切断工	φ100	口	16	16							切管調書より
WEETDAY-11 端末継手工	φ100	箇所	4	4							
WEETDAY-11 EF中間継手工	φ100	箇所	2	2							
WEETDAY-11 EFエルボ継手工	φ100	箇所	14	14							
鋳鉄管布設工	人力 φ100	m	4.9	4.910							
小口径鋼管据付工	人力 φ100	m	0.4	0.440							
仕切弁設置工	人力 φ100	基	4	4							
フランジ継手工	10K φ100	口	13	13							
仕切弁ボックス設置工 鉄蓋	円形1号	個	4	4							
仕切弁ボックス設置工 上部壁	円形1号	個	4	4							
仕切弁ボックス設置工 中部壁	円形1号	個	4	4							
仕切弁ボックス設置工 底板	円形1号	個	4	4							
不断水分岐工	φ100×φ100	箇所	4	4							
不断水仕切弁設置工 鋳鉄管	φ100	箇所	4	4							
管明示テープ工 ポリエチレン管	巾50mm	m	4.9	4.910							
管明示テープ工 ポリエチレン管	巾50mm	m	23.5	23.504							
埋設標識シート工	巾150mm	m	25.6	25.6	1.2+12.2×2=25.6						
HPPE管											
ロケーティングワイヤー工	φ3.4mm	m	23.5	23.504							
鋳鉄管											
ポリエチレンスリーブ工	φ100	m	4.9	4.910							
鋼材積込工	φ100	t	1.65	(5.7+5.5)×2×71.8+0.67×6×9.36=1,645.95kg							
高力ボルト締付工		本		88							
Uボルト取付工	第7類 0.001t/本	組	12	321g/本							
コンクリート打設工 小型構造物	人力打設 18-8-40(普通)	m3	1.3	1.0×0.5×1.3=0.65m3/箇所×2箇所=1.3m3							
同一般型枠工	人力打設	m2	8	(1.0+0.5)×2×1.3=3.9m2/箇所×2箇所=7.8m2							
基礎砕石工	RC-40、t=15cm	m2	1.3	1.1×0.6=0.66m2/箇所×2箇所=1.32m2							
WEET管 資材輸送費	4t車輸送	台	1								
70tラフテレーンクレーン		日	25	実日数15日を想定し、不稼働係数1.7を見込む							
単管足場		掛m2	16.6								
( 土 工 )											
配管布設土工①	管路 S	m	1.2	1.2							
配管布設土工②	管路 W	m	12.2	12.2							
配管布設土工③	不断水分岐	箇所	4	4							
配管布設土工④	不断水仕切弁	箇所	4	4							
配管布設土工⑤	鋼材基礎	箇所	2	2							
( 土 工 計 算 書 より )											
機械掘削工 BH 0.08m3	礫質土	m3	25	24.90							
機械掘削工 BH 0.08m3	クハ締固 真砂土	m3	8	7.92							
機械掘削工 BH 0.08m3	クハ締固 発生土	m3	16	15.90							
現地処理土砂工 人力	クハ締固 発生土	m3	7	7.18							

## φ 100mm 切管一覧表 (WEETDAY-11)

φ 100mm 6.0m直管を搬入(6tユニック車)

( 単位:m )

No.	切 管						計	残管	切断		
1	2.55	1.96	1.04				5.55	0.45	3		
2	3.04	0.63	1.73				5.40	0.60	3		
3	0.67	1.37	1.99	1.71			5.74	0.26	4		
4	1.59	1.04	1.04	1.04			4.71	1.29	4		
5	5.94						5.94	0.06	1		
6	5.94						5.94	0.06	1		
7											
8											
9											
10											
11											
合計							6	本	33.28	2.72	16

( 単位:m )

No.	切 管						計	残管	切断
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
合計									



## 配管布設土工

### 単位断面数量表











添 付 図 面

位置図

縮尺: 1:2,500 (A1)  
縮尺: 1:5,000 (A3)



送水管  
φ100 × 54.6m (26.7m, 27.9m)

φ100

φ100

φ100

φ100

φ100

位置	鳥取県 西伯郡 大山町	
	大山町大山	
工事名	博労座送水管布設替工事	
図名	位置図	
単位	縮尺	1:2,500 (A1) 1:5,000 (A3)
5 葉 中 / 1		
令和 7 年度施工		

# 計画平面図

S=1:100 (A1)  
S=1:200 (A3)

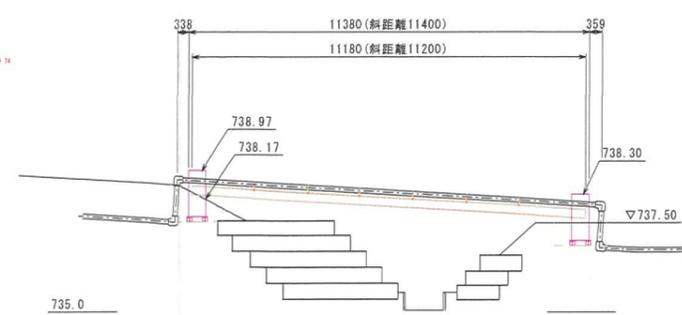


送水管 1 DCIP $\phi$ 100 $\times$ 2.1m、SUS100A $\times$ 0.2m、WEETDAY-11 $\phi$ 100 $\times$ 24.4m

送水管 1 DCIP $\phi$ 100 $\times$ 4.3m、SUS100A $\times$ 0.2m、WEETDAY-11 $\phi$ 100 $\times$ 23.4m



水管橋縦断面図

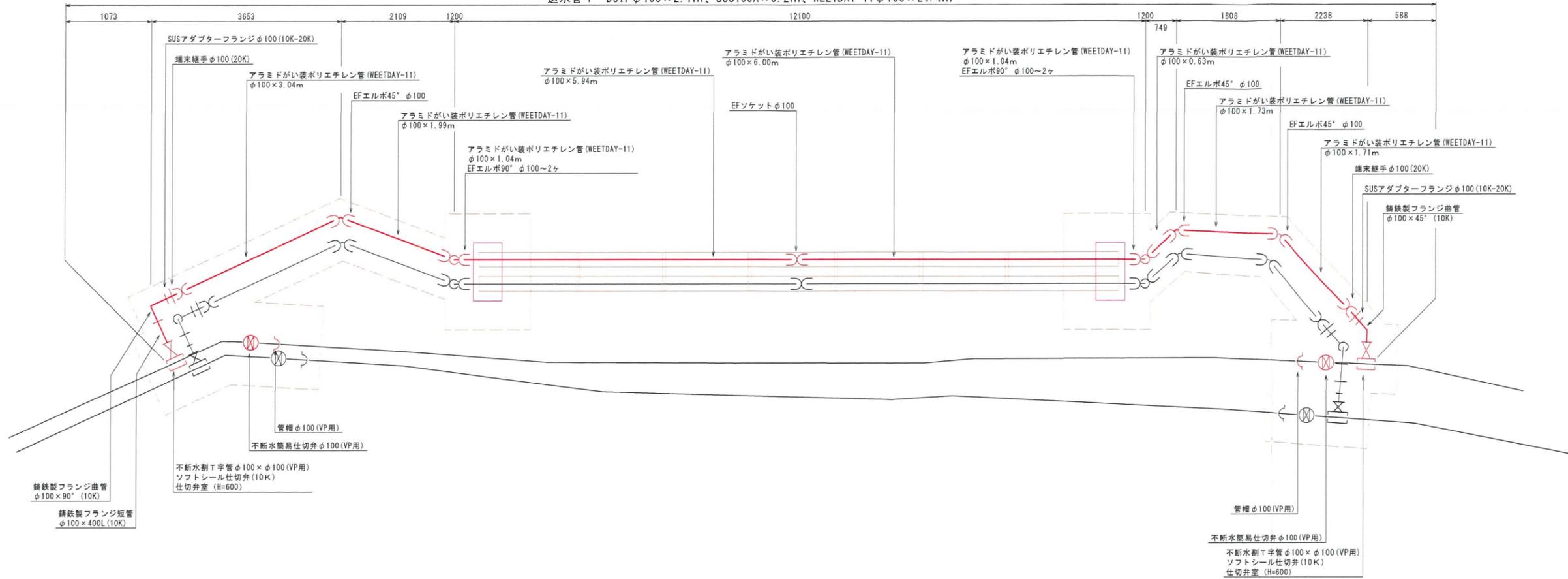


※各基礎コンクリートの前面根入れを50cm以上を確保すること

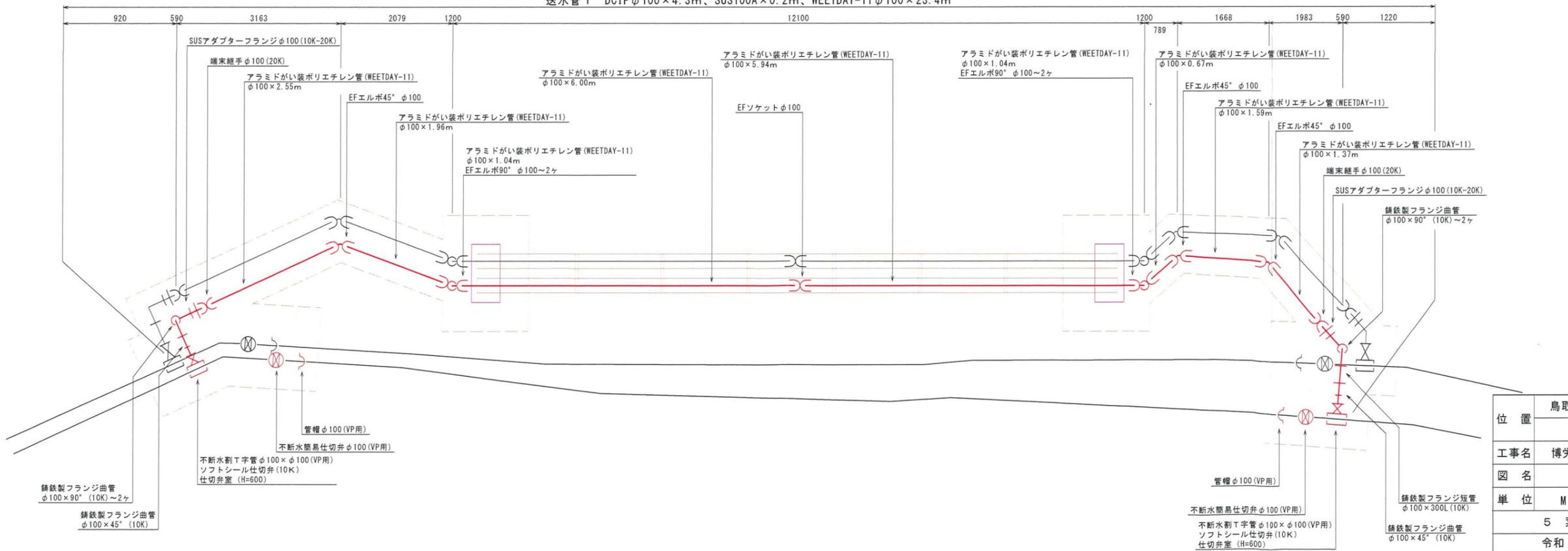
位置	鳥取県 西伯郡 大山町 大山町大山		
工事名	博労座送水管布設替工事		
図名	計画平面図		
単位	M	縮尺	1:100
5 葉 中 / 2			
令和 7 年度施工			

# 配管詳細図

送水管 1 DCIP  $\phi 100 \times 2.1\text{m}$ 、SUS100A  $\times 0.2\text{m}$ 、WEETDAY-11  $\phi 100 \times 24.4\text{m}$



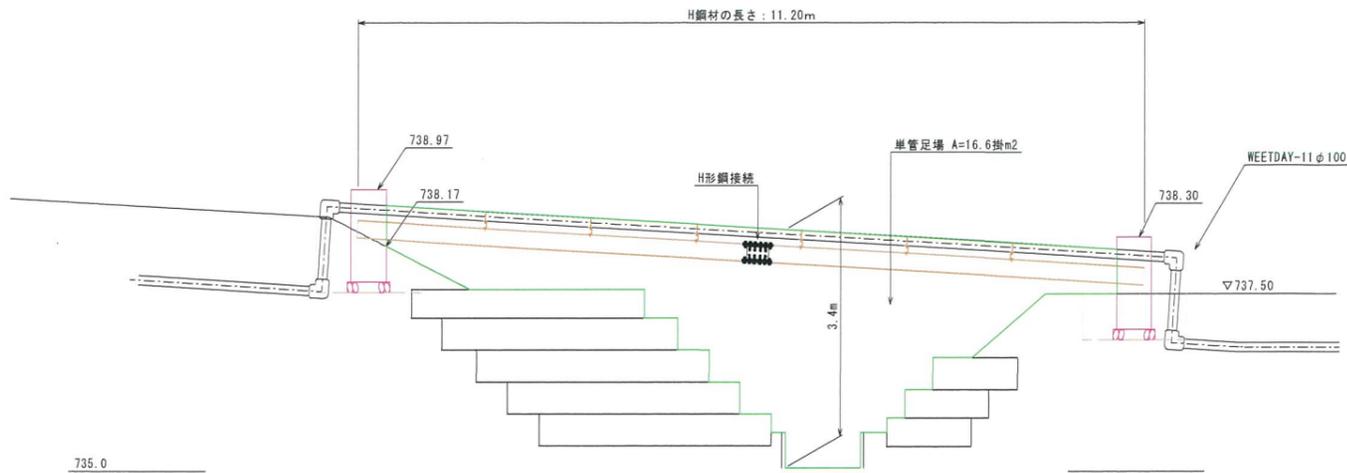
送水管 1 DCIP  $\phi 100 \times 4.3\text{m}$ 、SUS100A  $\times 0.2\text{m}$ 、WEETDAY-11  $\phi 100 \times 23.4\text{m}$



位置	鳥取県 西伯郡 大山町
	大山町大山
工事名	博労座送水管布設替工事
図名	配管詳細図
単位	M 縮尺 -
	5 葉 中 ノ 3
	令和 7 年度施工

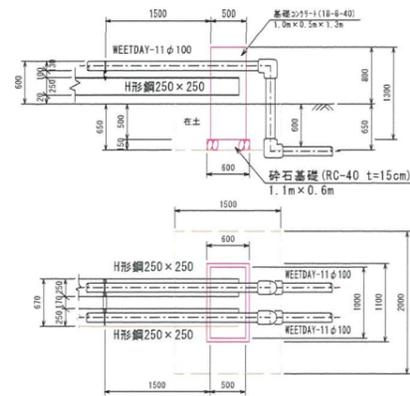
# 詳細図

水管橋縦断面図 S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)

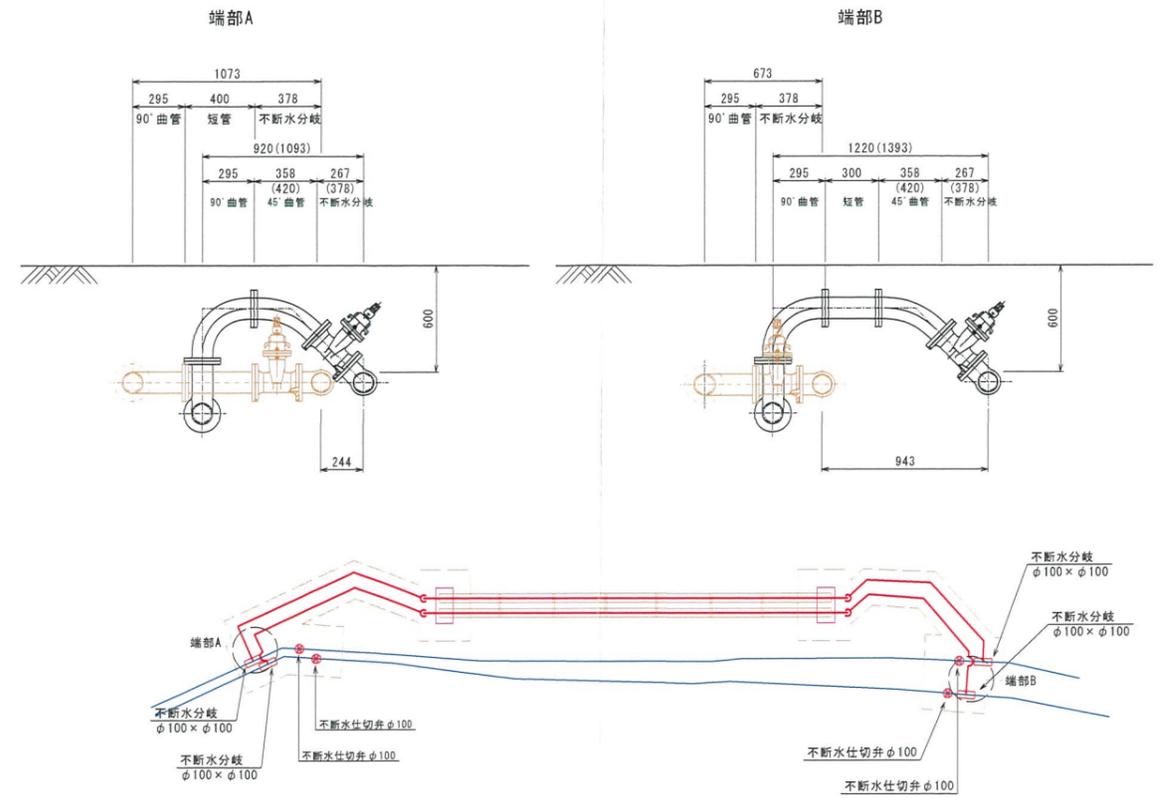


※各基礎コンクリートの前面埋入を50cm以上を確保すること

鋼材基礎図 S=1:50 (A1)  
S=1:100 (A3)



端部の詳細図 S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)



位置	鳥取県 西伯郡 大山町		
	大山町大山		
工事名	博労座送水管布設替工事		
図名	詳細図		
単位	M	縮尺	図示
	5 葉 中 / 4		
	令和 7 年度施工		

# 配管布設土工図

S=1/20 (A1)  
S=1/40 (A3)

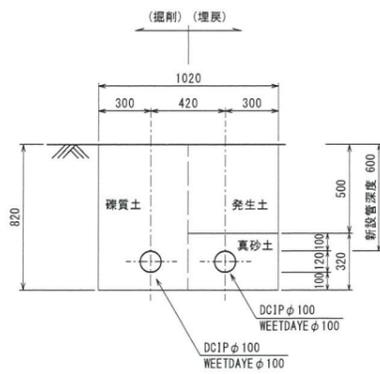
## 配管布設土工 ①

山地:  $\phi 100$   
埋設深度 H=0.60m



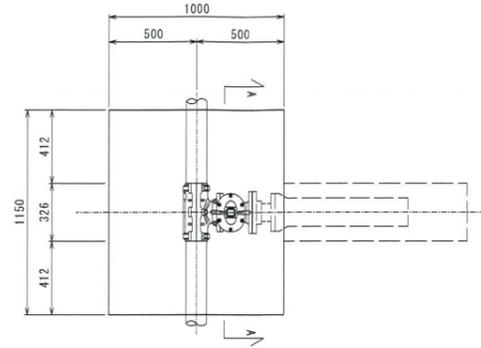
## 配管布設土工 ②

山地:  $\phi 100$   
埋設深度 H=0.60m



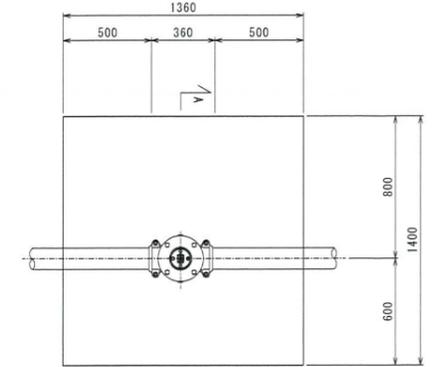
## 配管布設土工 ③

山地  
不断水仕切弁  $\phi 100 \times \phi 100$



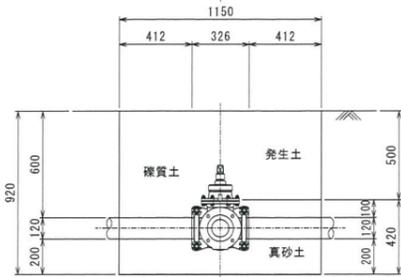
## 配管布設土工 ④

山地  
不断水仕切弁  $\phi 100$

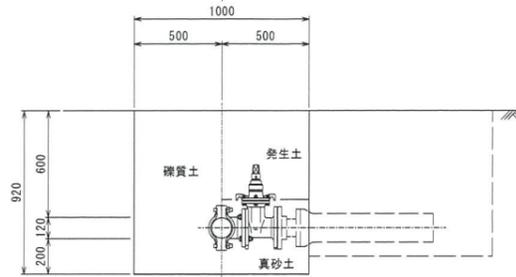


## A-A断面

(掘削) (埋戻)

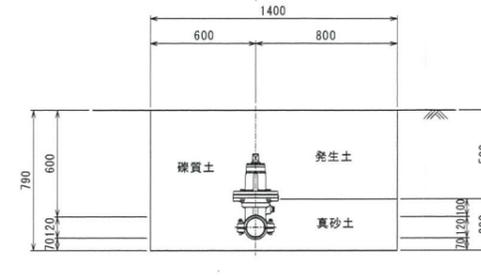


(掘削) (埋戻)

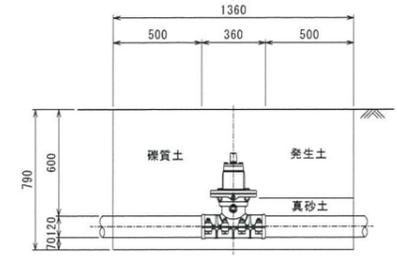


## A-A断面

(掘削) (埋戻)



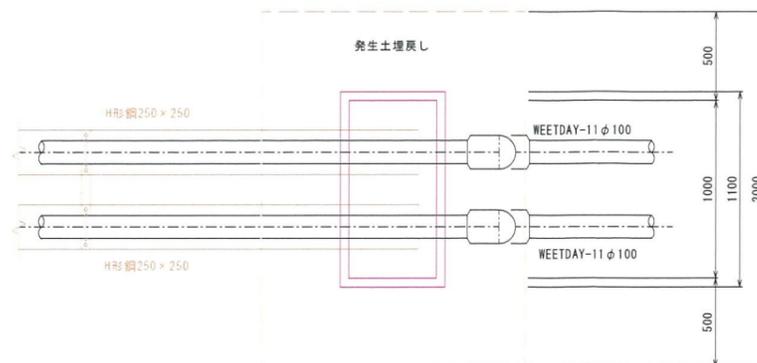
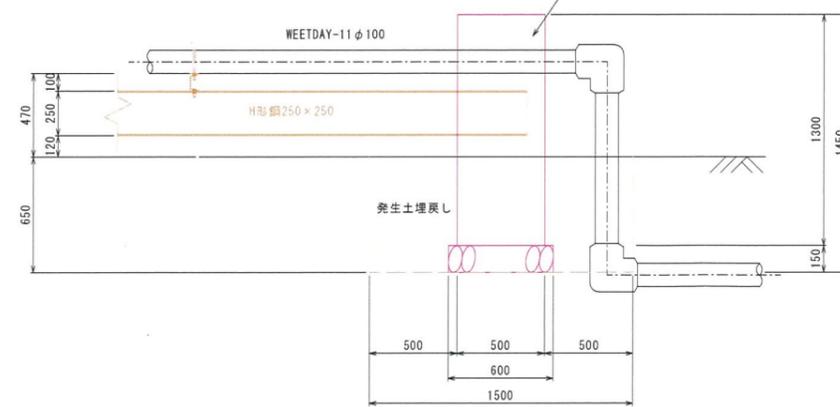
(掘削) (埋戻)



## 配管布設土工 ⑤

山地  
鋼材基礎

基礎コンクリート (18-8-40)  
1.0m × 0.5m × 1.3m  
基礎砕石 (RC-40)  
1.1m × 0.6m × 0.15m



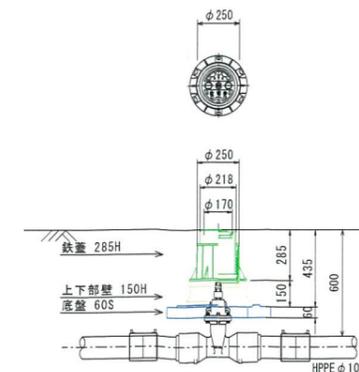
## 弁栓類ボックス組立参考図

A1:S=1/20  
A3:S=1/40

### 仕切弁ボックス 円形1号

$\phi 100$  埋設深度 H=0.60m用

ネジ式仕切弁鉄蓋



位置	鳥取県 西伯郡 大山町 大山町大山
工事名	博労座送水管布設替工事
図名	配管布設土工図 弁栓類ボックス組立参考図
単位	縮尺 1:20 (A1) 1/40 (A3)
5 葉 中 ノ 5	
令和 7 年度施工	

(

(